

対象校No.

注4

学校コード F133110109503

注3

設置年度 令和 7年度

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

**事前相談**

注2

岡山大学大学院教育学研究科教育科学専攻（修士課程）

**【事前相談】 設置に係る設置計画履行状況報告書  
（改正後大学設置基準適用）**

国立大学法人 岡山大学  
令和7年5月1日現在

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。  
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。  
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科  
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))  
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。  
例)  
・大学の設置の場合：「〇〇大学」  
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」  
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」  
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」  
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」  
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」  
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻（修士課程）」  
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。  
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。  
[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/mext\\_01087.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html)
- 4 対象校No.については、「【別紙】令和7年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、該当番号を記載してください。

# 目次

大学院教育学研究科

＜教育科学専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	25
4. 既設大学等の状況	27
5. 教育研究実施組織の状況	29
6. 附帯事項等に対する履行状況等	55
7. その他全般的事項	56

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 岡山大学

## (2) 大学名

岡山大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒700-8530

岡山県岡山市北区津島中三丁目1番1号

(岡山県岡山市北区津島中一丁目1番1号)

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。

・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ナス ヤストモ) 那須保友 (令和5年4月1日)		
理事	(ミムラ ユカリ) 三村由香里 (令和5年4月1日)		
研究科長	(タカセ アツシ) 高瀬淳 (令和4年4月1日)		
学科長等			

(注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を

( )書きで記入してください。

(例) 令和6年度に報告する内容 → (6)

令和7年度に報告する内容 → (7)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
  - ・様式は、令和2年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和7年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
  - ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「留学」の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
大学院教育学研究科 教育科学専攻  修士(教育学) 修士(教育データサイエンス)	教育学・保育学関係	2年	37人	0人 2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	74人	-	【基礎となる学部】 教育学部

- (注) 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。
- ・基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
  - ・「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）又は（その2の2））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
  - ・学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。）

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		春季入学以外の学期区分について	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	37人 ( ) [ ]	0人 ( ) [ ]	-	1.00倍	-	
志願者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	41 ( ) [ ]	( ) [ ]	春季入学以外の入学時期と入学定員内訳			
受験者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	40 ( ) [ ]	( ) [ ]				
合格者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	39 ( ) [ ]	( ) [ ]				
B 入学者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	37 ( ) [ ]	( ) [ ]				
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	-				

- (注) 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
  - ・( )内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・転入学生は記入しないでください。
  - ・[ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
  - ・「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
  - ・報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳（予定を含む）を記載してください。（春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。）
  - ・「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和8年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
  - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
  - ・「(5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	37	-	
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ 10 ]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
2 年次			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
			( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
3 年次					-	-	-	-	-	-	-	-	
					[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
					( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
4 年次							-	-	-	-	-	-	
							[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
							( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	37	-	
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ 10 ]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	

(注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ [ ]内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
- ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	人	人	令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
令和6年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	人	人	
令和7年度	37 人	0 人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	人	人	
			令和7年度	0 人	0 人	
合計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。
  - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
  - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。
  - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「修学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・修学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和7年度】

$$\frac{\text{令和7年度の退学者数(a)}}{\text{令和7年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{37} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<大学院教育学研究科 教育科学専攻>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
研究科共通	教育学の理念と今日的課題A	1・2②	1			2	1	0	0	0	0
	小計(1科目)	—	1	0	0	2	1	0	0	0	0
大学院共通	リーダーシップとSDGs	1・2休	2			0	0	0	0	0	1
	教育学プロジェクト研究概論	1・2①	1			2	2	0	1	0	0
	教育グロリアイニティ実践インターンシップA	1③	1			0	1	0	0	0	0
	小計(3科目)	—	4	0	0	2	3	0	1	0	1
プログラム専門科目	教育学の理念と今日的課題B	1・2①	1			1	1	0	0	0	0
	教育科学研究の方法(研究・研修上の準備、活用、評価)	1・2②	1			0	1	0	0	0	1
	教育科学研究の方法(調査法、実験法)	1・2④	1			2	0	0	0	0	0
	教育科学研究の方法(教育学とICT)	1・2④	1			1	0	0	0	0	0
	教育科学研究の方法(教育と地域・起業)	1・2①	1			1	0	0	0	2	0
	教育実地展開概論(教育と地域創生)	1・2休	1			1	0	0	0	0	2
	教育実地展開概論(家庭生活と教育の多様性)	1・2③	1			1	0	0	0	0	0
	教育実地展開概論(ESD)	1・2④	1			0	0	0	1	0	0
	教育実地展開概論(国際教育比較)	1・2②	1			1	2	1	0	0	0
	教育実地展開概論(教育のグローバル化)	1・2②	1			1	0	0	1	0	1
	PBL I	1・2②	1			2	2	0	1	0	0
	PBL II	1・2③	1			2	2	0	1	0	0
	PBL III	1・2④	1			2	2	0	1	0	0
	発達支援研究特論Ⅰ(発達基礎科学A)	1・2①	1			2	0	0	0	0	0
	発達支援研究特論Ⅰ(発達基礎科学B)	1・2②	1			1	0	0	0	0	1
	発達支援研究特論Ⅲ(幼児教育学A)	1・2③	1			0	1	0	0	0	0
	発達支援研究特論Ⅲ(幼児教育学B)	1・2④	1			0	1	0	0	0	0
	発達支援研究特論Ⅲ(実践実践学A)	1・2①	1			1	0	1	0	0	0
	発達支援研究特論Ⅲ(実践実践学B)	1・2②	1			1	0	1	0	0	0
	発達支援研究特論Ⅳ(学校保健心理学A)	1・2①	1			1	0	1	0	0	1
	発達支援研究特論Ⅳ(学校保健心理学B)	1・2②	1			1	0	1	0	0	1
	発達支援研究特論Ⅳ(保育内容学A)	1・2①	1			1	1	1	0	0	0
	発達支援研究特論Ⅳ(保育内容学B)	1・2②	1			1	1	1	0	0	0
	発達支援研究特論Ⅴ(幼児教育実践研究A)	1・2③	1			2	2	1	0	0	0
	発達支援研究特論Ⅴ(幼児教育実践研究B)	1・2④	1			2	2	1	0	0	0
	発達支援研究特論Ⅴ(実践実践研究A)	1・2①	1			1	0	1	0	0	0
	発達支援研究特論Ⅴ(実践実践研究B)	1・2②	1			1	0	1	0	0	0
小計(27科目)	—	1	26	0	14	8	4	2	0	8	
講義・演習科目	教育哲学特論ⅠA	1・2①	1			0	1	0	0	0	0
	教育哲学特論ⅠB	1・2②	1			0	1	0	0	0	0
	教育哲学特論ⅡA	1・2①	1			0	1	0	0	0	0
	教育哲学特論ⅡB	1・2②	1			0	1	0	0	0	0
	教育哲学特論演習A	1・2③	1			0	1	0	0	0	0
	教育哲学特論演習B	1・2④	1			0	1	0	0	0	0
	日本教育史特論ⅠA	1・2①	1			1	0	0	0	0	0
	日本教育史特論ⅠB	1・2②	1			1	0	0	0	0	0
	日本教育史特論ⅡA	1・2①	1			1	0	0	0	0	0
	日本教育史特論ⅡB	1・2②	1			1	0	0	0	0	0
	日本教育史特論演習A	1・2③	1			1	0	0	0	0	0
	日本教育史特論演習B	1・2④	1			1	0	0	0	0	0
	西洋教育史特論ⅠA	1・2①	1			1	0	0	0	0	0
	西洋教育史特論ⅠB	1・2②	1			1	0	0	0	0	0
	西洋教育史特論ⅡA	1・2①	1			1	0	0	0	0	0
	西洋教育史特論ⅡB	1・2②	1			1	0	0	0	0	0
	西洋教育史特論演習A	1・2③	1			1	0	0	0	0	0
	西洋教育史特論演習B	1・2④	1			1	0	0	0	0	0

【令和7年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
研究科共通	教育学の理念と今日的課題A	1・2②	1			2	1	0	0	0	0
	小計(1科目)	—	1	0	0	2	1	0	0	0	0
大学院共通	リーダーシップとSDGs	1・2休	2			0	0	0	0	0	1
	教育学プロジェクト研究概論	1・2①	1			2	2	0	2	0	0
	教育グロリアイニティ実践インターンシップA	1③	1			2	2	0	0	0	3
	小計(3科目)	—	4	0	0	4	4	0	2	0	3
プログラム専門科目	教育学の理念と今日的課題B	1・2①	1			1	1	0	0	0	0
	教育科学研究の方法(研究・研修上の準備、活用、評価)	1・2②	1			1	2	0	0	0	1
	教育科学研究の方法(調査法、実験法)	1・2④	1			2	0	0	0	0	0
	教育科学研究の方法(教育学とICT)	1・2④	1			1	0	0	0	0	0
	教育科学研究の方法(教育と地域・起業)	1・2①	1			2	1	0	1	0	2
	教育実地展開概論(教育と地域創生)	1・2休	1			1	0	0	0	0	2
	教育実地展開概論(家庭生活と教育の多様性)	1・2③	1			1	0	0	0	0	0
	教育実地展開概論(ESD)	1・2④	1			0	0	0	1	0	0
	教育実地展開概論(国際教育比較)	1・2②	1			1	2	0	0	0	0
	教育実地展開概論(教育のグローバル化)	1・2②	1			1	0	0	1	0	1
	PBL I	1・2②	1			2	2	0	1	0	0
	PBL II	1・2③	1			2	2	0	1	0	0
	PBL III	1・2④	1			2	2	0	1	0	0
	発達支援研究特論Ⅰ(発達基礎科学A)	1・2①	1			2	0	0	0	0	0
	発達支援研究特論Ⅰ(発達基礎科学B)	1・2②	1			1	0	0	0	0	1
	発達支援研究特論Ⅲ(幼児教育学A)	1・2③	1			1	0	0	0	0	0
	発達支援研究特論Ⅲ(幼児教育学B)	1・2④	1			1	0	0	0	0	0
	発達支援研究特論Ⅲ(実践実践学A)	1・2①	1			1	0	0	0	0	0
	発達支援研究特論Ⅲ(実践実践学B)	1・2②	1			1	0	0	0	0	0
	発達支援研究特論Ⅳ(学校保健心理学A)	1・2①	1			1	1	0	0	0	1
	発達支援研究特論Ⅳ(学校保健心理学B)	1・2②	1			1	1	0	0	0	1
	発達支援研究特論Ⅳ(保育内容学A)	1・2①	1			1	1	1	0	0	0
	発達支援研究特論Ⅳ(保育内容学B)	1・2②	1			1	1	1	0	0	0
	発達支援研究特論Ⅴ(幼児教育実践研究A)	1・2③	1			3	1	1	0	0	0
	発達支援研究特論Ⅴ(幼児教育実践研究B)	1・2④	1			3	1	1	0	0	0
	発達支援研究特論Ⅴ(実践実践研究A)	1・2①	1			1	0	0	0	0	0
	発達支援研究特論Ⅴ(実践実践研究B)	1・2②	1			1	0	0	0	0	0
小計(27科目)	—	1	26	0	15	9	1	2	0	8	
講義・演習科目	教育哲学特論ⅠA	1・2①	1			0	1	0	0	0	0
	教育哲学特論ⅠB	1・2②	1			0	1	0	0	0	0
	教育哲学特論ⅡA	1・2①	1			0	1	0	0	0	0
	教育哲学特論ⅡB	1・2②	1			0	1	0	0	0	0
	教育哲学特論演習A	1・2③	1			0	1	0	0	0	0
	教育哲学特論演習B	1・2④	1			0	1	0	0	0	0
	日本教育史特論ⅠA	1・2①	1			1	0	0	0	0	0
	日本教育史特論ⅠB	1・2②	1			1	0	0	0	0	0
	日本教育史特論ⅡA	1・2①	1			1	0	0	0	0	0
	日本教育史特論ⅡB	1・2②	1			1	0	0	0	0	0
	日本教育史特論演習A	1・2③	1			1	0	0	0	0	0
	日本教育史特論演習B	1・2④	1			1	0	0	0	0	0
	西洋教育史特論ⅠA	1・2①	1			1	0	0	0	0	0
	西洋教育史特論ⅠB	1・2②	1			1	0	0	0	0	0
	西洋教育史特論ⅡA	1・2①	1			1	0	0	0	0	0
	西洋教育史特論ⅡB	1・2②	1			1	0	0	0	0	0
	西洋教育史特論演習A	1・2③	1			1	0	0	0	0	0
	西洋教育史特論演習B	1・2④	1			1	0	0	0	0	0
	生徒指導特論A	1・2③	1			0	1	0	0	0	0
	生徒指導特論B	1・2④	1			0	1	0	0	0	0
進路指導特論A	1・2③	1			1	0	0	0	0	0	
進路指導特論B	1・2④	1			1	0	0	0	0	0	
児童心理学特論ⅠA	1・2①	1			0	1	0	0	0	0	
児童心理学特論ⅠB	1・2②	1			0	1	0	0	0	0	











【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	看護実践学特論演習(看護教諭論A)	1・2③	1			1	0	0	0	0	0
	看護実践学特論演習(看護教諭論B)	1・2④	1			1	0	0	0	0	0
	看護実践学特論(学校保健学A)	1・2①	1			0	0	1	0	0	0
	看護実践学特論(学校保健学B)	1・2②	1			0	0	1	0	0	0
	看護実践学特論演習(学校保健学A)	1・2③	1			0	0	1	0	0	0
	看護実践学特論演習(学校保健学B)	1・2④	1			0	0	1	0	0	0
	学校保健医科学特論(健康科学A)	1・2①	1			0	0	1	0	0	0
	学校保健医科学特論(健康科学B)	1・2②	1			0	0	1	0	0	0
	学校保健医科学特論演習(健康科学A)	1・2③	1			0	0	1	0	0	0
	学校保健医科学特論演習(健康科学B)	1・2④	1			0	0	1	0	0	0
	学校保健医科学特論(環境と健康A)	1・2③	1			1	0	0	0	0	0
	学校保健医科学特論(環境と健康B)	1・2④	1			1	0	0	0	0	0
	学校保健医科学特論演習(環境と健康A)	1・2③	1			1	0	0	0	0	0
	学校保健医科学特論演習(環境と健康B)	1・2④	1			1	0	0	0	0	0
	グローバル・プレゼンテーション1	1・2通	1			1	0	0	0	0	0
	グローバル・プレゼンテーション2	1・2通	1			1	0	0	0	0	0
	小計(354科目)	—	0	355	0	35	19	5	3	0	9
教育専門科目	教育学の理念と今日的課題B	1・2①	1			1	1	0	0	0	0
	教育科学研究の方法(研究・調査上の倫理、法則、行動)	1・2②	1			0	1	0	0	0	1
	教育科学研究の方法(調査法、実験法)	1・2④	1			2	0	0	0	0	0
	教育科学研究の方法(教育科学とICT)	1・2④	1			1	0	0	0	0	0
	教育科学研究の方法(教育と地域・結果)	1・2①	1			1	0	0	0	0	2
	教育実地展開概論(教育と地域創生)	1・2休	1			1	0	0	0	0	2
	教育実地展開概論(実習生活と教育の多様性)	1・2③	1			1	0	0	0	0	0
	教育実地展開概論(E S D)	1・2④	1			0	0	0	1	0	0
	教育実地展開概論(国際教育比較)	1・2②	1			1	2	1	0	0	0
	教育実地展開概論(教育のグローバル化)	1・2②	1			1	0	0	1	0	1
	教育科学プロジェクト研究概論	1・2①	1			2	2	0	1	0	0
	P B L I	1・2②	1			2	2	0	1	0	0
	P B L II	1・2③	1			2	2	0	1	0	0
	発達支援研究特論Ⅰ(発達基礎科学A)	1・2①	1			2	0	0	0	0	0
	発達支援研究特論Ⅰ(発達基礎科学B)	1・2②	1			1	0	0	0	0	1
	発達支援研究特論Ⅲ(幼児教育学A)	1・2③	1			0	1	0	0	0	0
	発達支援研究特論Ⅲ(幼児教育学B)	1・2④	1			0	1	0	0	0	0
	発達支援研究特論Ⅲ(看護実践学A)	1・2①	1			1	0	1	0	0	0
	発達支援研究特論Ⅲ(看護実践学B)	1・2②	1			1	0	1	0	0	0
	発達支援研究特論Ⅳ(保育内容学A)	1・2①	1			1	1	1	0	0	0
	発達支援研究特論Ⅳ(保育内容学B)	1・2②	1			1	1	1	0	0	0
	発達支援研究特論Ⅳ(学校保健医科学A)	1・2①	1			1	0	1	0	0	1
	発達支援研究特論Ⅳ(学校保健医科学B)	1・2②	1			1	0	1	0	0	1
	発達支援研究特論Ⅴ(幼児教育実践研究A)	1・2③	1			2	2	1	0	0	0
	発達支援研究特論Ⅴ(幼児教育実践研究B)	1・2④	1			2	2	1	0	0	0
	発達支援研究特論Ⅴ(看護教育実践研究A)	1・2①	1			1	0	1	0	0	0
	発達支援研究特論Ⅴ(看護教育実践研究B)	1・2②	1			1	0	1	0	0	0
	教育哲学特論ⅠA	1・2①	1			0	1	0	0	0	0
	教育哲学特論ⅠB	1・2②	1			0	1	0	0	0	0
	教育哲学特論ⅡA	1・2①	1			0	1	0	0	0	0
	教育哲学特論ⅡB	1・2②	1			0	1	0	0	0	0
	教育哲学特論演習A	1・2③	1			0	1	0	0	0	0
	教育哲学特論演習B	1・2④	1			0	1	0	0	0	0
	日本教育史特論ⅠA	1・2①	1			1	0	0	0	0	0
	日本教育史特論ⅠB	1・2②	1			1	0	0	0	0	0
	日本教育史特論ⅡA	1・2①	1			1	0	0	0	0	0
	日本教育史特論ⅡB	1・2②	1			1	0	0	0	0	0
	日本教育史特論演習A	1・2③	1			1	0	0	0	0	0
	日本教育史特論演習B	1・2④	1			1	0	0	0	0	0
	西洋教育史特論ⅠA	1・2①	1			1	0	0	0	0	0
	西洋教育史特論ⅠB	1・2②	1			1	0	0	0	0	0
	西洋教育史特論ⅡA	1・2①	1			1	0	0	0	0	0
	西洋教育史特論ⅡB	1・2②	1			1	0	0	0	0	0
	西洋教育史特論演習A	1・2③	1			1	0	0	0	0	0
	西洋教育史特論演習B	1・2④	1			1	0	0	0	0	0
	学習心理学特論A	1・2①	1			1	0	0	0	0	0
	学習心理学特論B	1・2②	1			1	0	0	0	0	0

【令和7年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	看護実践学特論演習(看護教諭論A)	1・2③	1			1	0	0	0	0	0
	看護実践学特論演習(看護教諭論B)	1・2④	1			1	0	0	0	0	0
	看護実践学特論(学校保健学A) (未開講)	1・2①	1			0	0	0	0	0	0
	看護実践学特論(学校保健学B) (未開講)	1・2②	1			0	0	0	0	0	0
	看護実践学特論演習(学校保健学A) (未開講)	1・2③	1			0	0	0	0	0	0
	看護実践学特論演習(学校保健学B) (未開講)	1・2④	1			0	0	0	0	0	0
	学校保健医科学特論(健康科学A)	1・2①	1			0	1	0	0	0	0
	学校保健医科学特論(健康科学B)	1・2②	1			0	1	0	0	0	0
	学校保健医科学特論演習(健康科学A)	1・2③	1			0	1	0	0	0	0
	学校保健医科学特論演習(健康科学B)	1・2④	1			0	1	0	0	0	0
	学校保健医科学特論(環境と健康A)	1・2③	1			1	0	0	0	0	0
	学校保健医科学特論(環境と健康B)	1・2④	1			1	0	0	0	0	0
	学校保健医科学特論演習(環境と健康A)	1・2③	1			1	0	0	0	0	0
	学校保健医科学特論演習(環境と健康B)	1・2④	1			1	0	0	0	0	0
	グローバル・プレゼンテーション1	1・2通	1			1	0	0	0	0	0
	グローバル・プレゼンテーション2	1・2通	1			1	0	0	0	0	0
	小計(360科目)	—	0	361	0	39	19	3	3	0	8
教育専門科目	教育学の理念と今日的課題B	1・2①	1			1	1	0	0	0	0
	教育科学研究の方法(研究・調査上の倫理、法則、行動)	1・2②	1			1	2	0	0	0	1
	教育科学研究の方法(調査法、実験法)	1・2④	1			2	0	0	0	0	0
	教育科学研究の方法(教育科学とICT)	1・2④	1			1	0	0	0	0	0
	教育科学研究の方法(教育と地域・結果)	1・2①	1			2	1	0	1	0	2
	教育実地展開概論(教育と地域創生)	1・2休	1			1	0	0	0	0	2
	教育実地展開概論(実習生活と教育の多様性)	1・2③	1			1	0	0	0	0	0
	教育実地展開概論(E S D)	1・2④	1			0	0	0	1	0	0
	教育実地展開概論(国際教育比較)	1・2②	1			1	2	0	0	0	0
	教育実地展開概論(教育のグローバル化)	1・2②	1			1	0	0	1	0	1
	教育科学プロジェクト研究概論	1・2①	1			2	2	0	1	0	0
	P B L I	1・2②	1			2	2	0	1	0	0
	P B L II	1・2③	1			2	2	0	1	0	0
	発達支援研究特論Ⅰ(発達基礎科学A)	1・2①	1			2	0	0	0	0	0
	発達支援研究特論Ⅰ(発達基礎科学B)	1・2②	1			1	0	0	0	0	1
	発達支援研究特論Ⅲ(幼児教育学A)	1・2③	1			1	0	0	0	0	0
	発達支援研究特論Ⅲ(幼児教育学B)	1・2④	1			1	0	0	0	0	0
	発達支援研究特論Ⅲ(看護実践学A)	1・2①	1			1	0	0	0	0	0
	発達支援研究特論Ⅲ(看護実践学B)	1・2②	1			1	0	0	0	0	0
	発達支援研究特論Ⅳ(保育内容学A)	1・2①	1			1	1	1	0	0	0
	発達支援研究特論Ⅳ(保育内容学B)	1・2②	1			1	1	1	0	0	0
	発達支援研究特論Ⅳ(学校保健医科学A)	1・2①	1			1	1	1	0	0	1
	発達支援研究特論Ⅳ(学校保健医科学B)	1・2②	1			1	1	1	0	0	1
	発達支援研究特論Ⅴ(幼児教育実践研究A)	1・2③	1			3	1	1	0	0	0
	発達支援研究特論Ⅴ(幼児教育実践研究B)	1・2④	1			3	1	1	0	0	0
	発達支援研究特論Ⅴ(看護教育実践研究A)	1・2①	1			1	0	0	0	0	0
	発達支援研究特論Ⅴ(看護教育実践研究B)	1・2②	1			1	0	0	0	0	0
	教育哲学特論ⅠA	1・2①	1			0	1	0	0	0	0
	教育哲学特論ⅠB	1・2②	1			0	1	0	0	0	0
	教育哲学特論ⅡA	1・2①	1			0	1	0	0	0	0
	教育哲学特論ⅡB	1・2②	1			0	1	0	0	0	0
	教育哲学特論演習A	1・2③	1			0	1	0	0	0	0
	教育哲学特論演習B	1・2④	1			0	1	0	0	0	0
	日本教育史特論ⅠA	1・2①	1			1	0	0	0	0	0
	日本教育史特論ⅠB	1・2②	1			1	0	0	0	0	0
	日本教育史特論ⅡA	1・2①	1			1	0	0	0	0	0
	日本教育史特論ⅡB	1・2②	1			1	0	0	0	0	0
	日本教育史特論演習A	1・2③	1			1	0	0	0	0	0
	日本教育史特論演習B	1・2④	1			1	0	0	0	0	0
	西洋教育史特論ⅠA	1・2①	1			1	0	0	0	0	0
	西洋教育史特論ⅠB	1・2②	1								









【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	教育学特論(家庭関係学ⅠA)	1・2①	1			1	0	0	0	0	0	
	教育学特論(家庭関係学ⅠB)	1・2②	1			1	0	0	0	0	0	
	教育学特論(家庭関係学ⅡA)	1・2③	1			1	0	0	0	0	0	
	教育学特論(家庭関係学ⅡB)	1・2④	1			1	0	0	0	0	0	
	教育学特論(食物科学ⅠA)	1・2①	1			0	1	0	0	0	0	
	教育学特論(食物科学ⅠB)	1・2②	1			0	1	0	0	0	0	
	教育学特論(食物科学ⅡA)	1・2③	1			0	1	0	0	0	0	
	教育学特論(食物科学ⅡB)	1・2④	1			0	1	0	0	0	0	
	教育学特論(食物科学ⅢA)	1・2①	1			0	1	0	0	0	0	
	教育学特論(食物科学ⅢB)	1・2②	1			0	1	0	0	0	0	
	教育学特論(被服科学ⅠA)	1・2①	1			1	0	0	0	0	0	
	教育学特論(被服科学ⅠB)	1・2②	1			1	0	0	0	0	0	
	教育学特論(被服科学ⅡA)	1・2③	1			1	0	0	0	0	0	
	教育学特論(被服科学ⅡB)	1・2④	1			1	0	0	0	0	0	
	教育学特論実験(被服科学A)	1・2③	1			1	0	0	0	0	0	
	教育学特論実験(被服科学B)	1・2④	1			1	0	0	0	0	0	
	教育学特論(英語科教育学ⅠA)	1・2①	1			0	1	0	0	0	0	
	教育学特論(英語科教育学ⅠB)	1・2②	1			0	1	0	0	0	0	
	教育学特論(英語科教育学ⅡA)	1・2③	1			0	1	0	0	0	0	
	教育学特論(英語科教育学ⅡB)	1・2④	1			0	1	0	0	0	0	
	教育学特論(英語学ⅠA)	1・2①	1			1	0	0	0	0	0	
	教育学特論(英語学ⅠB)	1・2②	1			1	0	0	0	0	0	
	教育学特論(英語学ⅡA)	1・2③	1			1	0	0	0	0	0	
	教育学特論(英語学ⅡB)	1・2④	1			1	0	0	0	0	0	
	教育学特論(英米文学ⅠA)	1・2①	1			0	1	0	0	0	0	
	教育学特論(英米文学ⅠB)	1・2②	1			0	1	0	0	0	0	
	教育学特論(英米文学ⅡA)	1・2③	1			0	1	0	0	0	0	
	教育学特論(英米文学ⅡB)	1・2④	1			0	1	0	0	0	0	
	PBL特論Ⅰ	1・2①	1			2	2	0	1	0	0	
	PBL特論Ⅱ	1・2②	1			2	2	0	1	0	0	
	PBL特論Ⅲ	1・2③	1			2	2	0	1	0	0	
	PBL特論Ⅳ	1・2④	1			2	2	0	1	0	0	
	PBL特論Ⅴ	1・2①	1			2	2	0	1	0	0	
	PBL特論Ⅵ	1・2②	1			2	2	0	1	0	0	
	PBL特論Ⅶ	1・2③	1			2	2	0	1	0	0	
	PBL特論Ⅷ	1・2④	1			2	2	0	1	0	0	
	保育内容特論(造形表現A)	1・2③	1			0	0	1	0	0	0	
	保育内容特論(造形表現B)	1・2④	1			0	0	1	0	0	0	
	保育内容特論演習(造形表現A)	1・2③	1			0	0	1	0	0	0	
	保育内容特論演習(造形表現B)	1・2④	1			0	0	1	0	0	0	
	保育内容特論(健康A)	1・2①	1			0	1	0	0	0	0	
	保育内容特論(健康B)	1・2②	1			0	1	0	0	0	0	
	保育内容特論演習(健康A)	1・2①	1			0	1	0	0	0	0	
	保育内容特論演習(健康B)	1・2②	1			0	1	0	0	0	0	
	保育内容特論(人間関係A)	1・2③	1			1	0	0	0	0	0	
	保育内容特論(人間関係B)	1・2④	1			1	0	0	0	0	0	
	保育内容特論演習(人間関係A)	1・2③	1			1	0	0	0	0	0	
	保育内容特論演習(人間関係B)	1・2④	1			1	0	0	0	0	0	
	幼児教育学特論A	1・2①	1			0	1	0	0	0	0	
	幼児教育学特論B	1・2②	1			0	1	0	0	0	0	
	幼児教育学特論演習A	1・2①	1			0	1	0	0	0	0	
	幼児教育学特論演習B	1・2②	1			0	1	0	0	0	0	
	幼児心理学特論A	1・2①	1			1	0	0	0	0	0	
	幼児心理学特論B	1・2②	1			1	0	0	0	0	0	
	幼児心理学特論演習A	1・2①	1			1	0	0	0	0	0	
	幼児心理学特論演習B	1・2②	1			1	0	0	0	0	0	
	美濃実践学特論(美濃教諭論A)	1・2①	1			1	0	0	0	0	0	
	美濃実践学特論(美濃教諭論B)	1・2②	1			1	0	0	0	0	0	
	美濃実践学特論演習(美濃教諭論A)	1・2③	1			1	0	0	0	0	0	
	美濃実践学特論演習(美濃教諭論B)	1・2④	1			1	0	0	0	0	0	
	美濃実践学特論(学校保健学A)	1・2①	1			0	0	1	0	0	0	
	美濃実践学特論(学校保健学B)	1・2②	1			0	0	1	0	0	0	
	美濃実践学特論演習(学校保健学A)	1・2③	1			0	0	1	0	0	0	
	美濃実践学特論演習(学校保健学B)	1・2④	1			0	0	1	0	0	0	

【令和7年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	教育学特論(家庭関係学ⅠA)	1・2①	1			1	0	0	0	0	0	
	教育学特論(家庭関係学ⅠB)	1・2②	1			1	0	0	0	0	0	
	教育学特論(家庭関係学ⅡA)	1・2③	1			1	0	0	0	0	0	
	教育学特論(家庭関係学ⅡB)	1・2④	1			1	0	0	0	0	0	
	教育学特論(食物科学ⅠA)	1・2①	1			0	1	0	0	0	0	
	教育学特論(食物科学ⅠB)	1・2②	1			0	1	0	0	0	0	
	教育学特論(食物科学ⅡA)	1・2③	1			0	1	0	0	0	0	
	教育学特論(食物科学ⅡB)	1・2④	1			0	1	0	0	0	0	
	教育学特論(食物科学ⅢA)	1・2①	1			0	1	0	0	0	0	
	教育学特論(食物科学ⅢB)	1・2②	1			0	1	0	0	0	0	
	教育学特論(被服科学ⅠA)	1・2①	1			1	0	0	0	0	0	
	教育学特論(被服科学ⅠB)	1・2②	1			1	0	0	0	0	0	
	教育学特論(被服科学ⅡA)	1・2③	1			1	0	0	0	0	0	
	教育学特論(被服科学ⅡB)	1・2④	1			1	0	0	0	0	0	
	教育学特論実験(被服科学A)	1・2③	1			1	0	0	0	0	0	
	教育学特論実験(被服科学B)	1・2④	1			1	0	0	0	0	0	
	教育学特論(英語科教育学ⅠA)	1・2①	1			0	1	0	0	0	0	
	教育学特論(英語科教育学ⅠB)	1・2②	1			0	1	0	0	0	0	
	教育学特論(英語科教育学ⅡA)	1・2③	1			0	1	0	0	0	0	
	教育学特論(英語科教育学ⅡB)	1・2④	1			0	1	0	0	0	0	
	教育学特論(英語学ⅠA)	1・2①	1			1	0	0	0	0	0	
	教育学特論(英語学ⅠB)	1・2②	1			1	0	0	0	0	0	
	教育学特論(英語学ⅡA)	1・2③	1			1	0	0	0	0	0	
	教育学特論(英語学ⅡB)	1・2④	1			1	0	0	0	0	0	
	教育学特論(英米文学ⅠA)	1・2①	1			0	1	0	0	0	0	
	教育学特論(英米文学ⅠB)	1・2②	1			0	1	0	0	0	0	
	教育学特論(英米文学ⅡA)	1・2③	1			0	1	0	0	0	0	
	教育学特論(英米文学ⅡB)	1・2④	1			0	1	0	0	0	0	
	PBL特論Ⅰ	1・2①	1			2	2	0	1	0	0	
	PBL特論Ⅱ	1・2②	1			2	2	0	1	0	0	
	PBL特論Ⅲ	1・2③	1			2	2	0	1	0	0	
	PBL特論Ⅳ	1・2④	1			2	2	0	1	0	0	
	PBL特論Ⅴ	1・2①	1			2	2	0	1	0	0	
	PBL特論Ⅵ	1・2②	1			2	2	0	1	0	0	
	PBL特論Ⅶ	1・2③	1			2	2	0	1	0	0	
	PBL特論Ⅷ	1・2④	1			2	2	0	1	0	0	
	保育内容特論(造形表現A)	1・2③	1			0	0	1	0	0	0	
	保育内容特論(造形表現B)	1・2④	1			0	0	1	0	0	0	
	保育内容特論演習(造形表現A)	1・2③	1			0	0	1	0	0	0	
	保育内容特論演習(造形表現B)	1・2④	1			0	0	1	0	0	0	
	保育内容特論(健康A)	1・2①	1			0	1	0	0	0	0	
	保育内容特論(健康B)	1・2②	1			0	1	0	0	0	0	
	保育内容特論演習(健康A)	1・2①	1			0	1	0	0	0	0	
	保育内容特論演習(健康B)	1・2②	1			0	1	0	0	0	0	
	保育内容特論(人間関係A)	1・2③	1			1	0	0	0	0	0	
	保育内容特論(人間関係B)	1・2④	1			1	0	0	0	0	0	
	保育内容特論演習(人間関係A)	1・2③	1			1	0	0	0	0	0	
	保育内容特論演習(人間関係B)	1・2④	1			1	0	0	0	0	0	
	幼児教育学特論A	1・2①	1			1	0	0	0	0	0	
	幼児教育学特論B	1・2②	1			1	0	0	0	0	0	
	幼児教育学特論演習A	1・2①	1			1	0	0	0	0	0	
	幼児教育学特論演習B	1・2②	1			1	0	0	0	0	0	
	幼児心理学特論A	1・2①	1			1	0	0	0	0	0	
	幼児心理学特論B	1・2②	1			1	0	0	0	0	0	
	幼児心理学特論演習A	1・2①	1			1	0	0	0	0	0	
	幼児心理学特論演習B	1・2②	1			1	0	0	0	0	0	
	美濃実践学特論(美濃教諭論A)	1・2①	1			1	0	0	0	0	0	
	美濃実践学特論(美濃教諭論B)	1・2②	1			1	0	0	0	0	0	
	美濃実践学特論演習(美濃教諭論A)	1・2③	1			1	0	0	0	0	0	
	美濃実践学特論演習(美濃教諭論B)	1・2④	1			1	0	0	0	0	0	
	美濃実践学特論(学校保健学A) (本学譲)	1・2①	1			0	0	0	0	0	0	
	美濃実践学特論(学校保健学B) (本学譲)	1・2②	1			0	0	0	0	0	0	
	美濃実践学特論演習(学校保健学A) (本学譲)	1・2③	1			0	0	0	0	0	0	
	美濃実践学特論演習(学校保健学B) (本学譲)	1・2④	1			0	0	0	0	0	0	

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	学校保健医科学特論 (健康科学A)	1・2①	1	0	0	0	0	1	0	0	0	
	学校保健医科学特論 (健康科学B)	1・2②	1	0	0	0	0	1	0	0	0	
	学校保健医科学特論演習 (健康科学A)	1・2③	1	0	0	0	0	1	0	0	0	
	学校保健医科学特論演習 (健康科学B)	1・2④	1	0	0	0	0	1	0	0	0	
	学校保健医科学特論 (環境と健康A)	1・2③	1	1	0	0	0	0	0	0	0	
	学校保健医科学特論 (環境と健康B)	1・2④	1	1	0	0	0	0	0	0	0	
	学校保健医科学特論演習 (環境と健康A)	1・2③	1	1	0	0	0	0	0	0	0	
	学校保健医科学特論演習 (環境と健康B)	1・2④	1	1	0	0	0	0	0	0	0	
	グローバル・プレゼンテーション1	1・2通	1	1	0	0	0	0	0	0	0	
	グローバル・プレゼンテーション2	1・2通	1	1	0	0	0	0	0	0	0	
	小計(377科目)	—	0	377	0	36	19	5	4	0	15	
教育データサイエンス科目	教育データサイエンス実践インターンシップI	2通	1			1	3	0	0	0	3	
	心理データアセスメント特論	1①②	2			0	1	0	0	0	0	
	スケジュール科学特論演習	1③④	2			1	1	0	0	0	2	
	行動科学評価法特論演習	1・2③④	2			0	1	0	0	0	0	
	認知学習行動科学特論演習	1・2③④	2			1	0	0	0	0	0	
	発達行動科学特論演習	1・2③④	2			1	0	0	0	0	0	
	集団行動科学特論演習	1・2③④	2			0	1	0	0	0	0	
	教育科学のための計量分析I	1・2①②	2			0	1	0	0	0	0	
	教育科学のための計量分析II	1・2③④	2			0	1	0	0	0	0	
	教育科学のための計量分析演習I	1・2①②	2			0	2	0	0	0	0	
	教育科学のための計量分析演習II	1・2③④	2			0	2	0	0	0	0	
	計量文献学特論演習	1・2①②	2			0	0	0	0	0	1	
	時空間情報処理演習	1・2③④	2			0	0	0	0	0	2	
	デジタル資料活用演習	1・2③④	2			0	0	0	0	0	1	
	テキスト処理演習	1・2①②	2			0	0	0	0	0	2	
	データ連携活用演習	1・2①②	2			0	0	0	0	0	1	
	メタバース空間構築演習	1・2③④	2			0	0	0	0	0	1	
	データサイエンス概論	1・2①②	2			0	0	0	0	0	3	
	ExcelとRを用いたデータ処理	1・2①	1			0	0	0	0	0	1	
	Pythonを用いたビッグデータ解析	1・2③④	2			0	0	0	0	0	4	
No Codeを用いたデザイン	1・2②	1			0	0	0	0	0	3		
教育イノベーション演習	1通	2			1	0	0	0	0	5		
教育DXハッカソン	1・2③	2			1	2	0	0	0	4		
小計(23科目)	—	13	30	0	2	4	0	0	0	10		
大学院共通科目 (課題研究)	教育科学課題研究	1・2①②③④	4			31	19	5	3	0	0	
	小計(1科目)	—	4	0	0	31	19	5	3	0	0	
合計(811科目)			—	21	790	0	36	19	5	4	0	25

卒業要件及び履修方法

(教育学学位プログラム)

【修了要件】

- 12年以上在学し、34単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、研究科の行う学位論文の審査及び最終試験に合格する。
- 研究科共通科目において、1単位を修得する。
- 大学院共通科目において、教育学学位プログラム内の科目から3単位を修得する。
- プログラム専門科目の課題解決型科目において、8単位を修得する。
- プログラム専門科目の講義・演習科目において、18単位を修得する。
- 大学院共通科目(課題研究)において、4単位を修得する。

【履修方法】

指導教員の指導のもとに年間の履修計画を立て、指定された期間に履修登録を行い、必ず登録の確認を行うこと。

(教育データサイエンス学位プログラム)

【修了要件】

- 12年以上在学し、38単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、研究科の行う学位論文の審査及び最終試験に合格する。
- 研究科共通科目において、1単位を修得する。
- 大学院共通科目において、教育データサイエンス学位プログラム内の科目から3単位を修得する。
- プログラム専門科目の教育専門科目において、13単位を修得する。
- プログラム専門科目の教育データサイエンス科目において、17単位を修得する。
- 大学院共通科目(課題研究)において、4単位を修得する。

【履修方法】

指導教員の指導のもとに年間の履修計画を立て、指定された期間に履修登録を行い、必ず登録の確認を行うこと。

【令和7年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	学校保健医科学特論 (健康科学A)	1・2①	1	0	0	0	1	0	0	0	0	
	学校保健医科学特論 (健康科学B)	1・2②	1	0	0	0	1	0	0	0	0	
	学校保健医科学特論演習 (健康科学A)	1・2③	1	0	0	0	1	0	0	0	0	
	学校保健医科学特論演習 (健康科学B)	1・2④	1	0	0	0	1	0	0	0	0	
	学校保健医科学特論 (環境と健康A)	1・2③	1	1	0	0	0	0	0	0	0	
	学校保健医科学特論 (環境と健康B)	1・2④	1	1	0	0	0	0	0	0	0	
	学校保健医科学特論演習 (環境と健康A)	1・2③	1	1	0	0	0	0	0	0	0	
	学校保健医科学特論演習 (環境と健康B)	1・2④	1	1	0	0	0	0	0	0	0	
	グローバル・プレゼンテーション1	1・2通	1	1	0	0	0	0	0	0	0	
	グローバル・プレゼンテーション2	1・2通	1	1	0	0	0	0	0	0	0	
	小計(377科目)	—	0	377	0	40	18	3	4	0	15	
教育データサイエンス科目	教育データサイエンス実践インターンシップI	2通	1			2	2	0	0	0	3	
	心理データアセスメント特論	1①②	2			0	1	0	0	0	0	
	スケジュール科学特論演習	1③④	2			1	1	0	1	0	2	
	行動科学評価法特論演習	1・2③④	2			0	1	0	0	0	0	
	認知学習行動科学特論演習	1・2③④	2			1	0	0	0	0	0	
	発達行動科学特論演習	1・2③④	2			1	0	0	0	0	0	
	集団行動科学特論演習	1・2③④	2			1	0	0	0	0	0	
	教育科学のための計量分析I	1・2①②	2			0	1	0	0	0	0	
	教育科学のための計量分析II	1・2③④	2			0	1	0	0	0	0	
	教育科学のための計量分析演習I	1・2①②	2			0	2	0	0	0	0	
	教育科学のための計量分析演習II	1・2③④	2			0	2	0	0	0	0	
	計量文献学特論演習	1・2①②	2			0	0	0	0	0	1	
	時空間情報処理演習	1・2③④	2			0	0	0	0	0	2	
	デジタル資料活用演習	1・2③④	2			0	0	0	0	0	1	
	テキスト処理演習	1・2①②	2			0	0	0	0	0	2	
	データ連携活用演習	1・2①②	2			0	0	0	0	0	1	
	メタバース空間構築演習	1・2③④	2			0	0	0	0	0	1	
	データサイエンス概論	1・2①②	2			0	0	0	0	0	2	
	ExcelとRを用いたデータ処理	1・2①	1			0	0	0	0	0	1	
	Pythonを用いたビッグデータ解析	1・2③④	2			0	0	0	0	0	3	
No Codeを用いたデザイン	1・2②	1			0	0	0	0	0	3		
教育イノベーション演習	1通	2			1	0	0	0	0	4		
教育DXハッカソン	1・2③	2			1	2	0	0	0	3		
小計(23科目)	—	13	30	0	3	3	0	1	0	10		
大学院共通科目 (課題研究)	教育科学課題研究	1・2①②③④	4			35	17	4	4	0	0	
	小計(1科目)	—	4	0	0	35	17	4	4	0	0	
合計(817科目)			—	21	796	0	41	20	3	5	0	26

卒業要件及び履修方法

(教育学学位プログラム)

【修了要件】

- 12年以上在学し、34単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、研究科の行う学位論文の審査及び最終試験に合格する。
- 研究科共通科目において、1単位を修得する。
- 大学院共通科目において、教育学学位プログラム内の科目から3単位を修得する。
- プログラム専門科目の課題解決型科目において、8単位を修得する。
- プログラム専門科目の講義・演習科目において、18単位を修得する。
- 大学院共通科目(課題研究)において、4単位を修得する。

【履修方法】

指導教員の指導のもとに年間の履修計画を立て、指定された期間に履修登録を行い、必ず登録の確認を行うこと。

(教育データサイエンス学位プログラム)

【修了要件】

- 12年以上在学し、38単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、研究科の行う学位論文の審査及び最終試験に合格する。
- 研究科共通科目において、1単位を修得する。
- 大学院共通科目において、教育データサイエンス学位プログラム内の科目から3単位を修得する。
- プログラム専門科目の教育専門科目において、13単位を修得する。
- プログラム専門科目の教育データサイエンス科目において、17単位を修得する。
- 大学院共通科目(課題研究)において、4単位を修得する。

【履修方法】

指導教員の指導のもとに年間の履修計画を立て、指定された期間に履修登録を行い、必ず登録の確認を行うこと。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。  
 なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「専任教員等の配置」欄は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等の配置」としてください。
  - ・ 「専任教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員(助手を除く)」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員(助手を除く)」としてください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼任教員)が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。  
 その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。  
 なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、「認可時又は届出時」の「主要授業科目」欄は削除し、「専任教員等の配置」欄は「専任教員等の配置」、「基幹教員以外の教員(助手を除く)」欄は「兼任・兼任」としてください。その上で、各年度については、「基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)数」は、認可時又は届出時の「専任教員」数との比較において変更となっている箇所、「基幹教員以外の教員(助手を除く)(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員以外の教員(助手を除く)」)数」は、認可時又は届出時の「兼任・兼任」数との比較において変更となっている箇所を**太字の赤字**としてください。  
 (専任教員から基幹教員に変更したことをもって太字の赤字とする必要はありません。)
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。  
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
  - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には【※】、「臨地実務実習」による授業科目には【臨】、「連携実務演習」による授業科目には【連】を授業科目の名称の右側に記入してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。  
 その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。  
 新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。  
 (例:記載順)【認可時又は届出時】→【令和7年度(新)】→【令和6年度(新)】→【令和5年度】→【令和4年度】→【令和7年度(旧)】→【令和6年度(旧)】

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和7年度】

教育課程の充実のため	「教育科学プロジェクト研究概論」の専任教員等の配置で「助教1→2」に変更
教育課程の充実のため	「教育データサイエンス実践インターンシップI」の専任教員等の配置で「教授0→2, 准教授1→2」に、兼任・兼担の配置で「0→3」に変更
教育課程の充実のため	「教育科学研究の方法（研究・研修上の倫理、法規、行政）」の専任教員等の配置で「教授0→1, 准教授1→2」に変更
カリキュラム整備のため	「教育科学の方法（教育と地域・起業）」の専任教員等の配置で「教授1→2, 准教授0→1, 助教0→1」に変更
専任教員の昇任のため	「教育実地展開概論（国際教育比較）」の専任教員等の配置で「講師1→0」に変更
専任教員の昇任のため	「発達支援研究特論Ⅲ（幼児教育学A）」の専任教員等の配置で「教授0→1, 准教授1→0」に変更
専任教員の昇任のため	「発達支援研究特論Ⅲ（幼児教育学B）」の専任教員等の配置で「教授0→1, 准教授1→0」に変更
専任教員の退職のため	「発達支援研究特論Ⅲ（養護実践学A）」の専任教員等の配置で「講師1→0」に変更
専任教員の退職のため	「発達支援研究特論Ⅲ（養護実践学B）」の専任教員等の配置で「講師1→0」に変更
専任教員の昇任のため	「発達支援研究特論Ⅳ（学校保健医科学A）」の専任教員等の配置で「准教授0→1, 講師1→0」に変更
専任教員の昇任のため	「発達支援研究特論Ⅳ（学校保健医科学B）」の専任教員等の配置で「准教授0→1, 講師1→0」に変更
専任教員の昇任のため	「発達支援研究特論Ⅴ（幼児教育実践研究A）」の専任教員等の配置で「教授2→3, 准教授2→1」に変更
専任教員の昇任のため	「発達支援研究特論Ⅴ（幼児教育実践研究B）」の専任教員等の配置で「教授2→3, 准教授2→1」に変更
専任教員の退職のため	「発達支援研究特論Ⅴ（養護教育実践研究A）」の専任教員等の配置で「講師1→0」に変更
専任教員の退職のため	「発達支援研究特論Ⅴ（養護教育実践研究B）」の専任教員等の配置で「講師1→0」に変更
教育課程の充実のため	「生徒指導特論A」の科目追加
教育課程の充実のため	「生徒指導特論B」の科目追加
教育課程の充実のため	「進路指導特論A」の科目追加
教育課程の充実のため	「進路指導特論B」の科目追加
教育課程の充実のため	「児童心理学特論ⅠA」の科目追加
教育課程の充実のため	「児童心理学特論ⅠB」の科目追加
専任教員の昇任のため	「集団心理学特論A」の専任教員等の配置で「教授0→1, 准教授1→0」に変更
専任教員の昇任のため	「集団心理学特論B」の専任教員等の配置で「教授0→1, 准教授1→0」に変更
専任教員の昇任のため	「集団心理学特論演習」の専任教員等の配置で「教授0→1, 准教授1→0」に変更
カリキュラム整備のため	「教育社会学特論ⅡA」の専任教員等の配置で「教授1→0」に、兼任・兼担で「0→1」に変更
カリキュラム整備のため	「教育社会学特論ⅡB」の専任教員等の配置で「教授1→0」に、兼任・兼担で「0→1」に変更
教育課程の充実のため	「教育組織特論」の兼任・兼担で「2→4」に変更
専任教員の昇任のため	「教育科学特論（代数学ⅢA）」の専任教員等の配置で「教授0→1, 准教授1→0」に変更
専任教員の昇任のため	「教育科学特論（代数学ⅢB）」の専任教員等の配置で「教授0→1, 准教授1→0」に変更
専任教員の昇任のため	「教育科学特論（代数学ⅣA）」の専任教員等の配置で「教授0→1, 准教授1→0」に変更
専任教員の昇任のため	「教育科学特論（代数学ⅣB）」の専任教員等の配置で「教授0→1, 准教授1→0」に変更
専任教員の昇任のため	「教育科学特論演習（数学ⅠB）」の専任教員等の配置で「教授0→1, 准教授1→0」に変更
専任教員の昇任のため	「教育科学特論演習（数学ⅡB）」の専任教員等の配置で「教授0→1, 准教授1→0」に変更
カリキュラム整備のため	「教育科学特論（美術科教育学ⅠA）」の専任教員等の配置で「教授2→1」に変更
カリキュラム整備のため	「教育科学特論（美術科教育学ⅠB）」の専任教員等の配置で「教授2→1」に変更
カリキュラム整備のため	「教育科学特論（美術理論・美術史B）」の兼任・兼担で「1→0」に変更
専任教員の昇任のため	「幼児教育学特論A」の専任教員等の配置で「教授0→1, 准教授1→0」に変更
専任教員の昇任のため	「幼児教育学特論B」の専任教員等の配置で「教授0→1, 准教授1→0」に変更
専任教員の昇任のため	「幼児教育学特論演習A」の専任教員等の配置で「教授0→1, 准教授1→0」に変更
専任教員の昇任のため	「幼児教育学特論演習B」の専任教員等の配置で「教授0→1, 准教授1→0」に変更
専任教員の昇任のため	「学校保健医科学特論（健康科学A）」の専任教員等の配置で「教授0→1, 准教授1→0」に変更
専任教員の昇任のため	「学校保健医科学特論（健康科学B）」の専任教員等の配置で「教授0→1, 准教授1→0」に変更
専任教員の昇任のため	「学校保健医科学特論演習（健康科学A）」の専任教員等の配置で「教授0→1, 准教授1→0」に変更
専任教員の昇任のため	「学校保健医科学特論演習（健康科学B）」の専任教員等の配置で「教授0→1, 准教授1→0」に変更
専任教員の昇任のため	「教育データサイエンス実践インターンシップI」の専任教員等の配置で「教授1→2, 准教授3→2」に変更
教育課程の充実のため	「スケジュール科学特論演習」の専任教員等の配置で「助教0→1」に変更
教育課程の充実のため	「行動科学評価法特論演習」の専任教員等の配置で「教授0→1」に変更
専任教員の昇任のため	「集団行動科学特論演習」の専任教員等の配置で「教授0→1, 准教授1→0」に変更
カリキュラム整備のため	「データサイエンス概論」の兼任・兼担で「3→2」に変更
カリキュラム整備のため	「Pythonを用いたビッグデータ解析」の兼任・兼担で「4→3」に変更
カリキュラム整備のため	「教育イノベーション演習」の兼任・兼担で「5→4」に変更
カリキュラム整備のため	「教育DXハッカソン」の兼任・兼担で「4→3」に変更
カリキュラム整備のため	「教育科学課題研究」の専任教員等の配置で「教授31→35, 准教授19→17, 講師5→4, 助教3→4」に変更

- (注)・ 2 (1) -① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、主要授業科目の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。  
 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。また、改正後大学設置基準（令和4年10月1日施行）の適用により、専任教員から基幹教員に変更した場合（例：「専任教員 教授1」から「基幹教員 教授1」に変更）や、兼任・兼担教員から基幹教員以外の教員に変更した場合（例：「兼任教員1」から「基幹教員以外の教員1」に変更）については、記入しないでください。
  - ・ 不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
21 科目	790 科目	0 科目	811 科目	21 科目 [ 0 ]	796 科目 [ 6 ]	0 科目 [ 0 ]	817 科目 [ 6 ]	

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

### (3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	教育社会学特論ⅠA	1	1・2③	専門	選択	カリキュラム整備のため、代替措置無し
2	教育社会学特論ⅠB	1	1・2④	専門	選択	カリキュラム整備のため、代替措置無し
3	教育社会学特論演習A	1	1・2③	専門	選択	カリキュラム整備のため、代替措置無し
4	教育社会学特論演習B	1	1・2④	専門	選択	カリキュラム整備のため、代替措置無し
5	教育科学特論(保健体育科教育学ⅡA)	1	1・2③	専門	選択	カリキュラム整備のため、代替措置無し
6	教育科学特論(保健体育科教育学ⅡB)	1	1・2④	専門	選択	カリキュラム整備のため、代替措置無し
7	養護実践学特論(学校保健学A)	1	1・2①	専門	選択	授業担当教員退職のため、代替措置無し
8	養護実践学特論(学校保健学B)	1	1・2②	専門	選択	授業担当教員退職のため、代替措置無し
9	養護実践学特論演習(学校保健学A)	1	1・2③	専門	選択	授業担当教員退職のため、代替措置無し
10	養護実践学特論演習(学校保健学B)	1	1・2④	専門	選択	授業担当教員退職のため、代替措置無し
11						
12						
13						
14						
15						

(注)・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

### (4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

### (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講科目1～4は授業担当教員が死亡したことにより当初他の教員が担当する予定であったが、他のカリキュラムとの都合もあり担当が難しくなった。なお、当該死亡教員の後任補充はなされているが、分野が異なるため当該科目担当となることができない。

未開講科目5～6は授業担当教員の他のカリキュラムとの都合により開講が難しくなった。

未開講科目7～10は辞任した教員が担当予定だったものであり、後任が補充され次第授業実施予定だが、令和7年度中での開講は難しいことが想定される。

以上の未開講科目については、学生便覧、シラバス、時間割表等で令和7年度は未開講科目であることを明示していることに加え、多く提供されている選択科目の一部であることから学生の混乱は生じていない。

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{10}{811} = \boxed{1.23} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	
	校 舎 敷 地	797,077㎡	㎡	㎡	797,077㎡	
	そ の 他	31,156㎡	㎡	㎡	31,156㎡	
	合 計	828,233㎡	㎡	㎡	828,233㎡	
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計		
	367,214㎡	㎡	㎡	367,214㎡		
	(367,214㎡)	( ㎡)	( ㎡)	(367,214㎡)		
(3) 講義室等・新設研究科等 の専任教員研究室	講義室	実験・実習室	演習室	新設研究科等の 専任教員研究室		
	181室	196室	172室	67室		

(4)	新設学部等の名称	図 書		学術雑誌		機械・器具 点	標 本 点
		〔うち外国書〕 冊	電子図書 〔うち外国書〕	〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕		
図書・設備	大学院教育学研究科教育科学専攻（修士課程）	1,976,038 [674,535]	29,288 [22,359]	74,937 [43,747]	27,246 [25,652]	14,303	
		(1,976,038 [674,535])	(29,288 [22,359])	(74,937 [43,747])	(27,246 [25,652])	(14,303)	( )
	計	1,976,038 [674,535]	29,288 [22,359]	74,937 [43,747]	27,246 [25,652]	14,303	
		(1,976,038 [674,535])	(29,288 [22,359])	(74,937 [43,747])	(27,246 [25,652])	(14,303)	( )

  

(5)	経費の見積り及び維持方法の概要	区 分		開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		経費の見積り	教員 1 人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
			共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生 1 人当り納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次		
	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注)・設置時の計画を、申請書の様式第 2 号（その 1 の 2）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（1）校地等」及び「（2）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目は A C 対象学部等の数値を記入してください。）
- ・「（4）図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の 5 月 1 日現在の数値を記入してください。
  - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（6）」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・校舎等建物の計画の変更（校舎の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・国立大学については「（5）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	岡山大学							収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.5倍以上の学科数	4
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
文学部					—	1.10	1.05			—	
人文学科	4	175	—	700	学士(文学)	1.10	1.05		平成16	岡山市北区津島中三丁目1番1号	
教育学部					—	1.06	1.03			—	
学校教育教員養成課程	4	250	—	1,000	学士(教育学)	1.07	1.03		平成11	岡山市北区津島中三丁目1番1号	
養護教諭養成課程	4	30	—	120	学士(教育学)	1.00	1.00		昭和53	同上	
法学部					—	1.09	1.06			—	
法学科					学士(法学)					岡山市北区津島中三丁目1番1号	
昼間コース	4	205	—	820	学士(法学)	1.10	1.06		平成16	同上	
夜間主コース	4	20	—	80	学士(法学)	1.09	1.01		平成16	同上	
経済学部					—	1.12	1.06			—	
経済学科					学士(経済学)					岡山市北区津島中三丁目1番1号	
昼間コース	4	205	—	820	学士(経済学)	1.11	1.06		平成16	同上	
夜間主コース	4	40	—	160	学士(経済学)	1.16	1.06		平成16	同上	
理学部					—	1.12	1.05			—	
数学科	4	20	3年次9	98	学士(理学)	1.17	1.12		平成7	岡山市北区津島中三丁目1番1号	令和3年度より3年次編入学定員改定 共通 20→0 数学科 0→9 物理学科 0→8 化学科 0→5 生物学科 0→5 地球科学科 0→3
物理学科	4	35	3年次8	156	学士(理学)	1.08	—		平成7	同上	
化学科	4	30	3年次5	130	学士(理学)	1.11	1.06		平成7	同上	
生物学科	4	30	3年次5	130	学士(理学)	1.17	1.11		平成7	同上	
地球科学科	4	25	3年次3	106	学士(理学)	1.10	1.02		平成7	同上	
医学部					—	1.01	1.00			—	
医学科	6	107	2年次5	686	学士(医学)	1.00	—	令和7年度	昭和24	岡山市北区鹿田町二丁目5番1号	
保健学科					—	1.03	1.01			同上	
看護学専攻	4	80	—	320	学士(看護学)	1.01	1.00		平成10	同上	令和3年度より3年次編入学学生募集停止
放射線技術科学専攻	4	40	—	160	学士(保健学)	1.05	1.03		平成10	同上	令和3年度より3年次編入学学生募集停止
検査技術科学専攻	4	40	—	160	学士(保健学)	1.05	1.01		平成10	同上	令和3年度より3年次編入学学生募集停止
歯学部					—	1.01	1.00			—	
歯学科	6	48	2年次5	313	学士(歯学)	1.01	1.00		昭和54	岡山市北区鹿田町二丁目5番1号	学生受入は昭和55年度
薬学部					—	1.11	1.07			—	
薬学科	6	40	—	240	学士(薬学)	1.08	1.06		平成18	岡山市北区津島中一丁目1番1号	
創薬科学科	4	40	—	160	学士(創薬科学)	1.15	1.08		平成18	同上	

既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考
工学部					—	1.08	1.04			—	
工学部	4	640	3年次30	2,560	学士(工学)	1.08	1.04	令和6年度	令和3	岡山市北区津島中三丁目1番1号	令和6年度から入学定員変更(610→640)
機械システム系学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	—		平成23	同上	令和3年度より学生募集停止
電気通信系学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	—		平成23	同上	令和3年度より学生募集停止
情報系学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	—		平成23	同上	令和3年度より学生募集停止
化学生命系学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	—		平成23	同上	令和3年度より学生募集停止
環境理工学部					—	—	—			—	
環境数理学科	4	—	—	—	学士(環境理工学)	—	—		平成6	岡山市北区津島中三丁目1番1号	令和3年度より学生募集停止
環境デザイン工学科	4	—	—	—	学士(環境理工学)	—	—		平成6	同上	令和3年度より学生募集停止
環境管理工学科	4	—	—	—	学士(環境理工学)	—	—		平成6	同上	令和3年度より学生募集停止
環境物質工学科	4	—	—	—	学士(環境理工学)	—	—		平成6	同上	令和3年度より学生募集停止
農学部					—	1.11	1.09			—	
総合農業科学科	4	120	—	480	学士(農学)	1.11	1.09		昭和61	岡山市北区津島中一丁目1番1号	
大学全体		2,220	2年次10 3年次60	9,399	—	—	—	—	—	—	

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。  
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。  
 ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。  
 ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織」ごとに、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。  
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
 ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。  
 ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。  
 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。  
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和8年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。  
 ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。  
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。  
 ・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。  
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。  
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。  
 ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。  
 詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

## 5 教育研究実施組織の状況

<大学院教育学研究科 教育科学専攻>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	赤木 里香子 <令和7年4月> 学術博士
		教育科学課題研究 教育科学特論(美術科教育学ⅠA)【隔年】 教育科学特論(美術科教育学ⅠB)【隔年】 教育科学特論(美術科教育学ⅦA) 教育科学特論(美術科教育学ⅦB) 教育科学特論(美術理論・鑑賞A) 教育科学特論(美術理論・鑑賞B) 教育科学特論(美術理論・美術史A)【隔年】 教育科学特論(美術理論・美術史B)【隔年】 教育実地展開概論(教育と地域創生)
専	教授	足立 稔 <令和7年4月> 博士(医学)
		教育科学課題研究 教育科学特論(学校保健学A) 教育科学特論(学校保健学B)
専	教授	阿部 真理子 <令和7年4月> Doctor of Education(米国)
		教育科学課題研究 教育科学特論(英語学ⅠA) 教育科学特論(英語学ⅠB) 教育科学特論(英語学ⅡA) 教育科学特論(英語学ⅡB)
専	教授	安藤 元紀 <令和7年4月> 博士(医学)
		教育科学課題研究 教育科学特論(動物学ⅠA)【隔年】 教育科学特論(動物学ⅠB)【隔年】 教育科学特論(動物学ⅡA)【隔年】 教育科学特論(動物学ⅡB)【隔年】 教育科学特論演習(動物学A) 教育科学特論演習(動物学B)

【令和7年度】

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	赤木 里香子 <令和7年4月> 学術博士
		教育科学課題研究 教育科学特論(美術科教育学ⅠA)【隔年】 教育科学特論(美術科教育学ⅠB)【隔年】 教育科学特論(美術科教育学ⅦA) 教育科学特論(美術科教育学ⅦB) 教育科学特論(美術理論・鑑賞A) 教育科学特論(美術理論・鑑賞B) 教育科学特論(美術理論・美術史A)【隔年】 教育科学特論(美術理論・美術史B)【隔年】 教育実地展開概論(教育と地域創生)
専	教授	足立 稔 <令和7年4月> 博士(医学)
		教育科学課題研究 教育科学特論(学校保健学A) 教育科学特論(学校保健学B)
専	教授	阿部 真理子 <令和7年4月> Doctor of Education(米国)
		教育科学課題研究 教育科学特論(英語学ⅠA) 教育科学特論(英語学ⅠB) 教育科学特論(英語学ⅡA) 教育科学特論(英語学ⅡB)
専	教授	安藤 元紀 <令和7年4月> 博士(医学)
		教育科学課題研究 教育科学特論(動物学ⅠA)【隔年】 教育科学特論(動物学ⅠB)【隔年】 教育科学特論(動物学ⅡA)【隔年】 教育科学特論(動物学ⅡB)【隔年】 教育科学特論演習(動物学A) 教育科学特論演習(動物学B)

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		李 環媛 <令和7年4月> 博士(社会科学)
専	教授	教育科学課題研究 教育科学特論(家族関係学ⅠA) 教育科学特論(家族関係学ⅠB) 教育科学特論(家族関係学ⅡA) 教育科学特論(家族関係学ⅡB) 教育科学特論(家庭経営学A) 教育科学特論(家庭経営学B) 教育実地展開概論(家庭生活と教育の多様性)
専	教授	石川 彰彦 <令和7年4月> 博士(学術)
		教育科学課題研究 教育科学特論(生物化学ⅠA)【隔年】 教育科学特論(生物化学ⅠB)【隔年】 教育科学特論(生物化学ⅡA)【隔年】 教育科学特論(生物化学ⅡB)【隔年】 教育科学特論(物理化学A)【隔年】 教育科学特論(物理化学B)【隔年】 教育科学特論(無機化学A)【隔年】 教育科学特論(無機化学B)【隔年】 教育科学特論(有機化学ⅠA)【隔年】 教育科学特論(有機化学ⅠB)【隔年】 教育科学特論(有機化学ⅡA)【隔年】 教育科学特論(有機化学ⅡB)【隔年】 教育科学特論演習(物理化学A)【隔年】 教育科学特論演習(物理化学B)【隔年】 教育科学特論演習(分析化学A)【隔年】 教育科学特論演習(分析化学B)【隔年】 教育科学特論演習(無機化学A)【隔年】 教育科学特論演習(無機化学B)【隔年】
専	教授	伊藤 恵司 <令和7年4月> 博士(理学)
		グローバル・プレゼンテーション1 グローバル・プレゼンテーション2 教育科学課題研究 教育科学特論(物理学ⅢA)【隔年】 教育科学特論(物理学ⅢB)【隔年】 教育科学特論(物理学ⅣA)【隔年】 教育科学特論(物理学ⅣB)【隔年】 教育科学特論演習(物理学ⅢA)【隔年】 教育科学特論演習(物理学ⅢB)【隔年】

【令和7年度】

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		李 環媛 <令和7年4月> 博士(社会科学)
専	教授	教育科学課題研究 教育科学特論(家族関係学ⅠA) 教育科学特論(家族関係学ⅠB) 教育科学特論(家族関係学ⅡA) 教育科学特論(家族関係学ⅡB) 教育科学特論(家庭経営学A) 教育科学特論(家庭経営学B) 教育実地展開概論(家庭生活と教育の多様性)
専	教授	石川 彰彦 <令和7年4月> 博士(学術)
		教育科学課題研究 教育科学特論(生物化学ⅠA)【隔年】 教育科学特論(生物化学ⅠB)【隔年】 教育科学特論(生物化学ⅡA)【隔年】 教育科学特論(生物化学ⅡB)【隔年】 教育科学特論(物理化学A)【隔年】 教育科学特論(物理化学B)【隔年】 教育科学特論(無機化学A)【隔年】 教育科学特論(無機化学B)【隔年】 教育科学特論(有機化学ⅠA)【隔年】 教育科学特論(有機化学ⅠB)【隔年】 教育科学特論(有機化学ⅡA)【隔年】 教育科学特論(有機化学ⅡB)【隔年】 教育科学特論演習(物理化学A)【隔年】 教育科学特論演習(物理化学B)【隔年】 教育科学特論演習(分析化学A)【隔年】 教育科学特論演習(分析化学B)【隔年】 教育科学特論演習(無機化学A)【隔年】 教育科学特論演習(無機化学B)【隔年】
専	教授	伊藤 恵司 <令和7年4月> 博士(理学)
		グローバル・プレゼンテーション1 グローバル・プレゼンテーション2 教育科学課題研究 教育科学特論(物理学ⅢA)【隔年】 教育科学特論(物理学ⅢB)【隔年】 教育科学特論(物理学ⅣA)【隔年】 教育科学特論(物理学ⅣB)【隔年】 教育科学特論演習(物理学ⅢA)【隔年】 教育科学特論演習(物理学ⅢB)【隔年】

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	伊藤 武彦 <令和7年4月> 博士(医学)
		学校保健医科学特論(環境と健康A) 学校保健医科学特論(環境と健康B) 学校保健医科学特論演習(環境と健康A) 学校保健医科学特論演習(環境と健康B) 教育科学課題研究 発達支援研究特論Ⅳ(学校保健医科学A)※ 発達支援研究特論Ⅳ(学校保健医科学B)※
専	教授	稲田 佳彦 <令和7年4月> 博士(理学)
		PBLⅠ PBLⅡ PBLⅢ PBL特論Ⅰ PBL特論Ⅱ PBL特論Ⅲ PBL特論Ⅳ PBL特論Ⅴ PBL特論Ⅵ PBL特論Ⅶ PBL特論Ⅷ 教育科学プロジェクト研究概論 教育科学課題研究 教育科学特論(物理学ⅠA)【隔年】 教育科学特論(物理学ⅠB)【隔年】 教育科学特論(物理学ⅡA)【隔年】 教育科学特論(物理学ⅡB)【隔年】 教育科学特論演習(物理学ⅠA)【隔年】 教育科学特論演習(物理学ⅡB)【隔年】
専	教授	入江 隆 <令和7年4月> 博士(工学)
		教育科学課題研究 教育科学特論(電気ⅠA) 教育科学特論(電気ⅠB) 教育科学特論(電気ⅡA) 教育科学特論(電気ⅡB)
専	教授	浮田 真弓 <令和7年4月> 修士(教育学)
		教育科学課題研究 教育科学特論(国語科教育学ⅠA)【隔年】 教育科学特論(国語科教育学ⅠB)【隔年】 教育科学特論(国語科教育学ⅡA)【隔年】 教育科学特論(国語科教育学ⅡB)【隔年】

【令和7年度】

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	伊藤 武彦 <令和7年4月> 博士(医学)
		学校保健医科学特論(環境と健康A) 学校保健医科学特論(環境と健康B) 学校保健医科学特論演習(環境と健康A) 学校保健医科学特論演習(環境と健康B) 教育科学課題研究 発達支援研究特論Ⅳ(学校保健医科学A)※ 発達支援研究特論Ⅳ(学校保健医科学B)※
専	教授	稲田 佳彦 <令和7年4月> 博士(理学)
		PBLⅠ PBLⅡ PBLⅢ PBL特論Ⅰ PBL特論Ⅱ PBL特論Ⅲ PBL特論Ⅳ PBL特論Ⅴ PBL特論Ⅵ PBL特論Ⅶ PBL特論Ⅷ 教育科学プロジェクト研究概論 教育科学課題研究 教育科学特論(物理学ⅠA)【隔年】 教育科学特論(物理学ⅠB)【隔年】 教育科学特論(物理学ⅡA)【隔年】 教育科学特論(物理学ⅡB)【隔年】 教育科学特論演習(物理学ⅠA)【隔年】 教育科学特論演習(物理学ⅡB)【隔年】
専	教授	入江 隆 <令和7年4月> 博士(工学)
		教育科学課題研究 教育科学特論(電気ⅠA) 教育科学特論(電気ⅠB) 教育科学特論(電気ⅡA) 教育科学特論(電気ⅡB)
専	教授	浮田 真弓 <令和7年4月> 修士(教育学)
		教育科学課題研究 教育科学特論(国語科教育学ⅠA)【隔年】 教育科学特論(国語科教育学ⅠB)【隔年】 教育科学特論(国語科教育学ⅡA)【隔年】 教育科学特論(国語科教育学ⅡB)【隔年】

【認可時又は届出時】

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	大守 伊織 <令和7年4月> 博士(医学)
		発達支援研究特論Ⅰ(発達基礎科学A)※【隔年】
専	教授	尾上 雅信 <令和7年4月> 博士(教育学)
		教育科学の理念と今日的課題A※ 教育組織特論※ 教育組織特論演習※ 西洋教育史特論ⅠA【隔年】 西洋教育史特論ⅠB【隔年】 西洋教育史特論ⅡA【隔年】 西洋教育史特論ⅡB【隔年】 西洋教育史特論演習A 西洋教育史特論演習B
専	教授	笠井 俊信 <令和7年4月> 博士(工学)
		教育科学課題研究 教育科学研究の方法(教育科学とICT) 教育科学特論(情報ⅠA) 教育科学特論(情報ⅠB) 教育科学特論(情報ⅡA) 教育科学特論(情報ⅡB)
専	教授	梶井 一暁 <令和7年4月> 博士(教育学)
		教育科学の理念と今日的課題A※ 教育科学課題研究 教育社会学特論ⅠA【隔年】 教育社会学特論ⅠB【隔年】 教育社会学特論ⅡA【隔年】 教育社会学特論ⅡB【隔年】 教育社会学特論演習A 教育社会学特論演習B 教育組織特論※ 教育組織特論演習※ 日本教育史特論ⅠA【隔年】 日本教育史特論ⅠB【隔年】 日本教育史特論ⅡA【隔年】 日本教育史特論ⅡB【隔年】 日本教育史特論演習A 日本教育史特論演習B
専	教授	梶元 達也 <令和7年4月> 学士(教育学)
		教育科学特論(技術科教育学ⅠA) 教育科学特論(技術科教育学ⅠB) 教育科学特論(技術科教育学ⅡA) 教育科学特論(技術科教育学ⅡB)

【令和7年度】

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	大守 伊織 <令和7年4月> 博士(医学)
		発達支援研究特論Ⅰ(発達基礎科学A)※【隔年】
専	教授	尾上 雅信 <令和7年4月> 博士(教育学)
		教育科学の理念と今日的課題A※ 教育組織特論※ 教育組織特論演習※ 西洋教育史特論ⅠA【隔年】 西洋教育史特論ⅠB【隔年】 西洋教育史特論ⅡA【隔年】 西洋教育史特論ⅡB【隔年】 西洋教育史特論演習A 西洋教育史特論演習B
専	教授	笠井 俊信 <令和7年4月> 博士(工学)
		教育科学課題研究 教育科学研究の方法(教育科学とICT) 教育科学特論(情報ⅠA) 教育科学特論(情報ⅠB) 教育科学特論(情報ⅡA) 教育科学特論(情報ⅡB)
専	教授	梶井 一暁 <令和7年4月> 博士(教育学)
		教育科学の理念と今日的課題A※ 教育科学課題研究 教育社会学特論ⅠA【隔年】 教育社会学特論ⅠB【隔年】 教育社会学特論ⅡA【隔年】 教育社会学特論ⅡB【隔年】 教育社会学特論演習A 教育社会学特論演習B 教育組織特論※ 教育組織特論演習※ 日本教育史特論ⅠA【隔年】 日本教育史特論ⅠB【隔年】 日本教育史特論ⅡA【隔年】 日本教育史特論ⅡB【隔年】 日本教育史特論演習A 日本教育史特論演習B
専	教授	梶元 達也 <令和7年4月> 学士(教育学)
		教育科学特論(技術科教育学ⅠA) 教育科学特論(技術科教育学ⅠB) 教育科学特論(技術科教育学ⅡA) 教育科学特論(技術科教育学ⅡB)

【認可時又は届出時】

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	片山 美香 <令和7年4月> 博士(教育学)
		教育学課題研究 発達支援研究特論Ⅰ(発達基礎科学A)※【隔年】 発達支援研究特論Ⅰ(発達基礎科学B)※【隔年】 発達支援研究特論Ⅴ(幼児教育実践研究A)※ 発達支援研究特論Ⅴ(幼児教育実践研究B)※ 幼児心理学特論A【隔年】 幼児心理学特論B【隔年】 幼児心理学特論演習A【隔年】 幼児心理学特論演習B【隔年】
専	教授	上村 弘子 <令和7年4月> 博士(学校教育学)
		教育学課題研究 教育実地展開概論(国際教育比較)【隔年】 発達支援研究特論Ⅲ(養護実践学A)※ 発達支援研究特論Ⅲ(養護実践学B)※ 発達支援研究特論Ⅴ(養護教育実践研究A)※ 発達支援研究特論Ⅴ(養護教育実践研究B)※ 養護実践学特論(養護教諭論A) 養護実践学特論(養護教諭論B) 養護実践学特論演習(養護教諭論A) 養護実践学特論演習(養護教諭論B)
専	教授	木村 功 <令和7年4月> 修士(文学)※
		教育学課題研究 教育学特論(近代文学ⅠA)【隔年】 教育学特論(近代文学ⅠB)【隔年】 教育学特論(近代文学ⅡA)【隔年】 教育学特論(近代文学ⅡB)【隔年】

【令和7年度】

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	片山 美香 <令和7年4月> 博士(教育学)
		教育学課題研究 発達支援研究特論Ⅰ(発達基礎科学A)※【隔年】 発達支援研究特論Ⅰ(発達基礎科学B)※【隔年】 発達支援研究特論Ⅴ(幼児教育実践研究A)※ 発達支援研究特論Ⅴ(幼児教育実践研究B)※ 幼児心理学特論A【隔年】 幼児心理学特論B【隔年】 幼児心理学特論演習A【隔年】 幼児心理学特論演習B【隔年】
専	教授	上村 弘子 <令和7年4月> 博士(学校教育学)
		教育学課題研究 教育実地展開概論(国際教育比較)【隔年】 発達支援研究特論Ⅲ(養護実践学A)※ 発達支援研究特論Ⅲ(養護実践学B)※ 発達支援研究特論Ⅴ(養護教育実践研究A)※ 発達支援研究特論Ⅴ(養護教育実践研究B)※ 養護実践学特論(養護教諭論A) 養護実践学特論(養護教諭論B) 養護実践学特論演習(養護教諭論A) 養護実践学特論演習(養護教諭論B)
専	教授	木村 功 <令和7年4月> 修士(文学)※
		教育学課題研究 教育学特論(近代文学ⅠA)【隔年】 教育学特論(近代文学ⅠB)【隔年】 教育学特論(近代文学ⅡA)【隔年】 教育学特論(近代文学ⅡB)【隔年】

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	清田 哲男 <令和7年4月> 博士(学校教育学)
		PBL I PBL II PBL III PBL 特論 I PBL 特論 II PBL 特論 III PBL 特論 IV PBL 特論 V PBL 特論 VI PBL 特論 VII PBL 特論 VIII 教育科学プロジェクト研究概論 教育科学課題研究 教育科学特論(美術科教育学 I A)【隔年】 教育科学特論(美術科教育学 I B)【隔年】 教育科学特論(美術科教育学 II A)【隔年】 教育科学特論(美術科教育学 II B)【隔年】 教育科学特論(美術科教育学 V A) 教育科学特論(美術科教育学 V B)
専	教授	桑原 敏典 <令和7年4月> 博士(教育学)
		教育科学課題研究 教育科学研究の方法(教育と地域・起業)※ 教育科学特論(社会科教育学 I A) 教育科学特論(社会科教育学 I B) 教育科学特論(社会科教育学 II A) 教育科学特論(社会科教育学 II B) 教育科学特論演習(社会科教育学 I A) 教育科学特論演習(社会科教育学 I B) 教育科学特論演習(社会科教育学 II A) 教育科学特論演習(社会科教育学 II B) 教育実地展開概論(教育のグローバル化)※
専	教授	酒向 治子 <令和7年4月> 博士(人文科学)
		教育科学課題研究 教育科学特論(運動学 I A) 教育科学特論(運動学 I B) 教育科学特論演習(運動学 I A) 教育科学特論演習(運動学 I B)

【令和7年度】

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	清田 哲男 <令和7年4月> 博士(学校教育学)
		PBL I PBL II PBL III PBL 特論 I PBL 特論 II PBL 特論 III PBL 特論 IV PBL 特論 V PBL 特論 VI PBL 特論 VII PBL 特論 VIII 教育科学プロジェクト研究概論 教育科学課題研究 教育科学特論(美術科教育学 I A)【隔年】 教育科学特論(美術科教育学 I B)【隔年】 教育科学特論(美術科教育学 II A)【隔年】 教育科学特論(美術科教育学 II B)【隔年】 教育科学特論(美術科教育学 V A) 教育科学特論(美術科教育学 V B) <b>教育科学研究の方法(研究・研修上の倫理, 法規, 行政)</b>
専	教授	桑原 敏典 <令和7年4月> 博士(教育学)
		教育科学課題研究 教育科学研究の方法(教育と地域・起業)※ 教育科学特論(社会科教育学 I A) 教育科学特論(社会科教育学 I B) 教育科学特論(社会科教育学 II A) 教育科学特論(社会科教育学 II B) 教育科学特論演習(社会科教育学 I A) 教育科学特論演習(社会科教育学 I B) 教育科学特論演習(社会科教育学 II A) 教育科学特論演習(社会科教育学 II B) 教育実地展開概論(教育のグローバル化)※
専	教授	酒向 治子 <令和7年4月> 博士(人文科学)
		教育科学課題研究 教育科学特論(運動学 I A) 教育科学特論(運動学 I B) 教育科学特論演習(運動学 I A) 教育科学特論演習(運動学 I B)

【認可時又は届出時】

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	篠原 陽子 <令和7年4月> 博士(学校教育学)
		教育科学課題研究 教育科学特論(被服科学ⅠA) 教育科学特論(被服科学ⅠB) 教育科学特論(被服科学ⅡA) 教育科学特論(被服科学ⅡB) 教育科学特論実験(被服科学A) 教育科学特論実験(被服科学B)
専	教授	高旗 浩志 <令和7年4月> 修士(教育学)※
		学校社会学特論ⅠA【隔年】 学校社会学特論ⅠB【隔年】 学校社会学特論ⅡA【隔年】 学校社会学特論ⅡB【隔年】
専	教授	土屋 聡 <令和7年4月> 博士(文学)
		教育科学課題研究 教育科学特論(漢文学ⅠA)【隔年】 教育科学特論(漢文学ⅠB)【隔年】 教育科学特論(漢文学ⅡA)【隔年】 教育科学特論(漢文学ⅡB)【隔年】
専	教授	寺澤 孝文 <令和7年4月> 博士(心理学)
		スケジュール科学特論演習 学習心理学特論A【隔年】 学習心理学特論B【隔年】 学習心理学特論演習【隔年】 教育DXハッカソン 教育イノベーション演習 教育データサイエンス実践インターンシップⅡ 教育科学課題研究 教育科学研究の方法(調査法, 実験法)※ 認知学習行動科学特論演習

【令和7年度】

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	篠原 陽子 <令和7年4月> 博士(学校教育学)
		教育科学課題研究 教育科学特論(被服科学ⅠA) 教育科学特論(被服科学ⅠB) 教育科学特論(被服科学ⅡA) 教育科学特論(被服科学ⅡB) 教育科学特論実験(被服科学A) 教育科学特論実験(被服科学B)
専	教授	高旗 浩志 <令和7年4月> 修士(教育学)※
		学校社会学特論ⅠA【隔年】 学校社会学特論ⅠB【隔年】 学校社会学特論ⅡA【隔年】 学校社会学特論ⅡB【隔年】 <b>教育科学課題研究</b>
専	教授	土屋 聡 <令和7年4月> 博士(文学)
		教育科学課題研究 教育科学特論(漢文学ⅠA)【隔年】 教育科学特論(漢文学ⅠB)【隔年】 教育科学特論(漢文学ⅡA)【隔年】 教育科学特論(漢文学ⅡB)【隔年】
専	教授	寺澤 孝文 <令和7年4月> 博士(心理学)
		スケジュール科学特論演習 学習心理学特論A【隔年】 学習心理学特論B【隔年】 学習心理学特論演習【隔年】 教育DXハッカソン 教育イノベーション演習 教育データサイエンス実践インターンシップⅡ 教育科学課題研究 教育科学研究の方法(調査法, 実験法)※ 認知学習行動科学特論演習 <b>教育データサイエンス実践インターンシップⅠ</b>

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	長岡 功 <令和7年4月> 芸術学修士
		教育科学課題研究 教育科学特論(器楽ⅠA)【隔年】 教育科学特論(器楽ⅠB)【隔年】 教育科学特論(器楽ⅡA)【隔年】 教育科学特論(器楽ⅡB)【隔年】
専	教授	中川 征樹 <令和7年4月> 博士(理学)
		教育科学課題研究 教育科学特論(幾何学ⅠA) 教育科学特論(幾何学ⅠB) 教育科学特論(幾何学ⅡA) 教育科学特論(幾何学ⅡB) 教育科学特論演習(数学ⅠC) 教育科学特論演習(数学ⅡC)
専	教授	中村 登 <令和7年4月> 博士(理学)
		教育科学課題研究 教育科学特論(解析学ⅢA) 教育科学特論(解析学ⅢB) 教育科学特論(解析学ⅣA) 教育科学特論(解析学ⅣB) 教育科学特論演習(数学ⅠE) 教育科学特論演習(数学ⅡE)
専	教授	西山 修 <令和7年4月> 博士(学校教育学)
		教育科学課題研究 発達支援研究特論Ⅳ(保育内容学A)※ 発達支援研究特論Ⅳ(保育内容学B)※ 発達支援研究特論Ⅴ(幼児教育実践研究A)※ 発達支援研究特論Ⅴ(幼児教育実践研究B)※ 保育内容特論(人間関係A)【隔年】 保育内容特論(人間関係B)【隔年】 保育内容特論演習(人間関係A)【隔年】 保育内容特論演習(人間関係B)【隔年】

【令和7年度】

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	長岡 功 <令和7年4月> 芸術学修士
		教育科学課題研究 教育科学特論(器楽ⅠA)【隔年】 教育科学特論(器楽ⅠB)【隔年】 教育科学特論(器楽ⅡA)【隔年】 教育科学特論(器楽ⅡB)【隔年】
専	教授	中川 征樹 <令和7年4月> 博士(理学)
		教育科学課題研究 教育科学特論(幾何学ⅠA) 教育科学特論(幾何学ⅠB) 教育科学特論(幾何学ⅡA) 教育科学特論(幾何学ⅡB) 教育科学特論演習(数学ⅠC) 教育科学特論演習(数学ⅡC)
専	教授	中村 登 <令和7年4月> 博士(理学)
		教育科学課題研究 教育科学特論(解析学ⅢA) 教育科学特論(解析学ⅢB) 教育科学特論(解析学ⅣA) 教育科学特論(解析学ⅣB) 教育科学特論演習(数学ⅠE) 教育科学特論演習(数学ⅡE)
専	教授	西山 修 <令和7年4月> 博士(学校教育学)
		教育科学課題研究 発達支援研究特論Ⅳ(保育内容学A)※ 発達支援研究特論Ⅳ(保育内容学B)※ 発達支援研究特論Ⅴ(幼児教育実践研究A)※ 発達支援研究特論Ⅴ(幼児教育実践研究B)※ 保育内容特論(人間関係A)【隔年】 保育内容特論(人間関係B)【隔年】 保育内容特論演習(人間関係A)【隔年】 保育内容特論演習(人間関係B)【隔年】

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	早川 倫子 <令和7年4月> 博士(学術)
		教育科学課題研究 教育科学特論(音楽科教育学ⅠA)【隔年】 教育科学特論(音楽科教育学ⅠB)【隔年】 教育科学特論(音楽科教育学ⅡA)【隔年】 教育科学特論(音楽科教育学ⅡB)【隔年】
専	教授	松多 信尚 <令和7年4月> 博士(理学)
		教育科学の理念と今日的課題B 教育科学課題研究 教育科学特論(自然地理学ⅠA) 教育科学特論(自然地理学ⅠB) 教育科学特論(自然地理学ⅡA) 教育科学特論(自然地理学ⅡB) 教育科学特論演習(自然地理学ⅠA) 教育科学特論演習(自然地理学ⅠB) 教育科学特論演習(自然地理学ⅡA) 教育科学特論演習(自然地理学ⅡB)
専	教授	三宅 幹子 <令和7年4月> 博士(心理学)
		教育科学課題研究 教育科学研究の方法(調査法, 実験法)※ 発達行動科学特論演習 発達心理学特論ⅠA【隔年】 発達心理学特論ⅠB【隔年】 発達心理学特論ⅡA【隔年】 発達心理学特論ⅡB【隔年】 発達心理学特論演習【隔年】
専	教授	村井 良介 <令和7年4月> 博士(文学)
		教育科学課題研究 教育科学特論(日本史ⅠA) 教育科学特論(日本史ⅠB) 教育科学特論(日本史ⅡA) 教育科学特論(日本史ⅡB) 教育科学特論演習(日本史ⅠA) 教育科学特論演習(日本史ⅠB) 教育科学特論演習(日本史ⅡA) 教育科学特論演習(日本史ⅡB)

【令和7年度】

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	早川 倫子 <令和7年4月> 博士(学術)
		教育科学課題研究 教育科学特論(音楽科教育学ⅠA)【隔年】 教育科学特論(音楽科教育学ⅠB)【隔年】 教育科学特論(音楽科教育学ⅡA)【隔年】 教育科学特論(音楽科教育学ⅡB)【隔年】
専	教授	松多 信尚 <令和7年4月> 博士(理学)
		教育科学の理念と今日的課題B 教育科学課題研究 教育科学特論(自然地理学ⅠA) 教育科学特論(自然地理学ⅠB) 教育科学特論(自然地理学ⅡA) 教育科学特論(自然地理学ⅡB) 教育科学特論演習(自然地理学ⅠA) 教育科学特論演習(自然地理学ⅠB) 教育科学特論演習(自然地理学ⅡA) 教育科学特論演習(自然地理学ⅡB) <b>教育科学研究の方法(教育と地域・起業)</b>
専	教授	三宅 幹子 <令和7年4月> 博士(心理学)
		教育科学課題研究 教育科学研究の方法(調査法, 実験法)※ 発達行動科学特論演習 発達心理学特論ⅠA【隔年】 発達心理学特論ⅠB【隔年】 発達心理学特論ⅡA【隔年】 発達心理学特論ⅡB【隔年】 発達心理学特論演習【隔年】
専	教授	村井 良介 <令和7年4月> 博士(文学)
		教育科学課題研究 教育科学特論(日本史ⅠA) 教育科学特論(日本史ⅠB) 教育科学特論(日本史ⅡA) 教育科学特論(日本史ⅡB) 教育科学特論演習(日本史ⅠA) 教育科学特論演習(日本史ⅠB) 教育科学特論演習(日本史ⅡA) 教育科学特論演習(日本史ⅡB)

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	山本 和史 <令和7年4月> 修士(教育学)
		教育科学課題研究 教育科学特論(立体造形ⅠA)【隔年】 教育科学特論(立体造形ⅠB)【隔年】 教育科学特論(立体造形ⅡA)【隔年】 教育科学特論(立体造形ⅡB)【隔年】 教育科学特論(立体造形ⅢA) 教育科学特論(立体造形ⅢB)
専	教授	吉原 直彦 <令和7年4月> 修士(教育学)
		教育科学特論(平面造形ⅠA)【隔年】 教育科学特論(平面造形ⅠB)【隔年】 教育科学特論(平面造形ⅡA)【隔年】 教育科学特論(平面造形ⅡB)【隔年】
専	准教授	大熊 正哲 <令和7年4月> 博士(経済学)
		教育DXハッカソン 教育データサイエンス実践インターンシップII 教育科学のための計量分析I 教育科学のための計量分析II 教育科学のための計量分析演習I 教育科学のための計量分析演習II 教育科学の理念と今日的課題B 教育科学課題研究 教育科学特論(経済学ⅠA) 教育科学特論(経済学ⅠB) 教育科学特論(経済学ⅡA) 教育科学特論(経済学ⅡB) 教育科学特論演習(経済学ⅠA) 教育科学特論演習(経済学ⅠB) 教育科学特論演習(経済学ⅡA) 教育科学特論演習(経済学ⅡB)

【令和7年度】

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	山本 和史 <令和7年4月> 修士(教育学)
		教育科学課題研究 教育科学特論(立体造形ⅠA)【隔年】 教育科学特論(立体造形ⅠB)【隔年】 教育科学特論(立体造形ⅡA)【隔年】 教育科学特論(立体造形ⅡB)【隔年】 教育科学特論(立体造形ⅢA) 教育科学特論(立体造形ⅢB)
専	教授	吉原 直彦 <令和7年4月> 修士(教育学)
		教育科学特論(平面造形ⅠA)【隔年】 教育科学特論(平面造形ⅠB)【隔年】 教育科学特論(平面造形ⅡA)【隔年】 教育科学特論(平面造形ⅡB)【隔年】
専	教授	青木 多寿子 <令和7年4月> 博士(心理学)
		進路指導特論A 進路指導特論B
専	准教授	大熊 正哲 <令和7年4月> 博士(経済学)
		教育DXハッカソン 教育データサイエンス実践インターンシップII 教育科学のための計量分析I 教育科学のための計量分析II 教育科学のための計量分析演習I 教育科学のための計量分析演習II 教育科学の理念と今日的課題B 教育科学課題研究 教育科学特論(経済学ⅠA) 教育科学特論(経済学ⅠB) 教育科学特論(経済学ⅡA) 教育科学特論(経済学ⅡB) 教育科学特論演習(経済学ⅠA) 教育科学特論演習(経済学ⅠB) 教育科学特論演習(経済学ⅡA) 教育科学特論演習(経済学ⅡB) 教育データサイエンス実践インターンシップI 教育科学研究の方法(教育と地域・起業)

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	岡田 和也 <令和7年4月> 博士(文学)
		教育科学課題研究 教育科学特論(英米文学ⅠA) 教育科学特論(英米文学ⅠB) 教育科学特論(英米文学ⅡA) 教育科学特論(英米文学ⅡB) 教育実地展開概論(国際教育比較)【隔年】
専	准教授	尾島 卓 <令和7年4月> 修士(教育学)※
		教育科学課題研究 教育方法学特論ⅠA【隔年】 教育方法学特論ⅠB【隔年】 教育方法学特論ⅡA【隔年】 教育方法学特論ⅡB【隔年】 教育方法学特論演習A 教育方法学特論演習B
専	准教授	小山 尚史 <令和7年4月> 教育学修士
		教育科学課題研究 教育科学特論(英語科教育学ⅠA) 教育科学特論(英語科教育学ⅠB) 教育科学特論(英語科教育学ⅡA) 教育科学特論(英語科教育学ⅡB)
専	准教授	高田 宏史 <令和7年4月> 博士(政治学)
		教育科学課題研究 教育科学研究の方法(研究・研修上の倫理, 法規, 行政)※ 【隔年】 教育科学特論(政治学ⅠA) 教育科学特論(政治学ⅠB) 教育科学特論(政治学ⅡA) 教育科学特論(政治学ⅡB) 教育科学特論演習(政治学ⅠA) 教育科学特論演習(政治学ⅠB) 教育科学特論演習(政治学ⅡA) 教育科学特論演習(政治学ⅡB)

【令和7年度】

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	岡田 和也 <令和7年4月> 博士(文学)
		教育科学課題研究 教育科学特論(英米文学ⅠA) 教育科学特論(英米文学ⅠB) 教育科学特論(英米文学ⅡA) 教育科学特論(英米文学ⅡB) 教育実地展開概論(国際教育比較)【隔年】
専	准教授	尾島 卓 <令和7年4月> 修士(教育学)※
		教育科学課題研究 教育方法学特論ⅠA【隔年】 教育方法学特論ⅠB【隔年】 教育方法学特論ⅡA【隔年】 教育方法学特論ⅡB【隔年】 教育方法学特論演習A 教育方法学特論演習B
専	准教授	小山 尚史 <令和7年4月> 教育学修士
		教育科学課題研究 教育科学特論(英語科教育学ⅠA) 教育科学特論(英語科教育学ⅠB) 教育科学特論(英語科教育学ⅡA) 教育科学特論(英語科教育学ⅡB)
専	准教授	高田 宏史 <令和7年4月> 博士(政治学)
		教育科学課題研究 教育科学研究の方法(研究・研修上の倫理, 法規, 行政) ※【隔年】 教育科学特論(政治学ⅠA) 教育科学特論(政治学ⅠB) 教育科学特論(政治学ⅡA) 教育科学特論(政治学ⅡB) 教育科学特論演習(政治学ⅠA) 教育科学特論演習(政治学ⅠB) 教育科学特論演習(政治学ⅡA) 教育科学特論演習(政治学ⅡB)

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	仲田 研登 <令和7年4月> 博士(理学)
		教育科学課題研究 教育科学特論(代数学ⅠA) 教育科学特論(代数学ⅠB) 教育科学特論(代数学ⅡA) 教育科学特論(代数学ⅡB) 教育科学特論演習(数学ⅠA) 教育科学特論演習(数学ⅡA)
専	准教授	野毛 宏文 <令和7年4月> 博士(工学)
		教育科学課題研究 教育科学特論(機械ⅠA) 教育科学特論(機械ⅠB) 教育科学特論(機械ⅡA) 教育科学特論(機械ⅡB)
専	准教授	馬場 訓子 <令和7年4月> 博士(学校教育学)
		教育科学課題研究 発達支援研究特論Ⅳ(保育内容学A)※ 発達支援研究特論Ⅳ(保育内容学B)※ 発達支援研究特論Ⅴ(幼児教育実践研究A)※ 発達支援研究特論Ⅴ(幼児教育実践研究B)※ 保育内容特論(健康A)【隔年】 保育内容特論(健康B)【隔年】 保育内容特論演習(健康A)【隔年】 保育内容特論演習(健康B)【隔年】
専	准教授	原 祐一 <令和7年4月> 博士(教育学)
		教育DXハッカソン 教育科学のための計量分析演習Ⅰ 教育科学のための計量分析演習Ⅱ 教育科学課題研究 教育科学特論(保健体育科教育学ⅠA) 教育科学特論(保健体育科教育学ⅠB) 教育科学特論(保健体育科教育学ⅡA) 教育科学特論(保健体育科教育学ⅡB) 教育実地展開概論(国際教育比較)【隔年】

【令和7年度】

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	仲田 研登 <令和7年4月> 博士(理学)
		教育科学課題研究 教育科学特論(代数学ⅠA) 教育科学特論(代数学ⅠB) 教育科学特論(代数学ⅡA) 教育科学特論(代数学ⅡB) 教育科学特論演習(数学ⅠA) 教育科学特論演習(数学ⅡA)
専	准教授	野毛 宏文 <令和7年4月> 博士(工学)
		教育科学課題研究 教育科学特論(機械ⅠA) 教育科学特論(機械ⅠB) 教育科学特論(機械ⅡA) 教育科学特論(機械ⅡB)
専	准教授	馬場 訓子 <令和7年4月> 博士(学校教育学)
		教育科学課題研究 発達支援研究特論Ⅳ(保育内容学A)※ 発達支援研究特論Ⅳ(保育内容学B)※ 発達支援研究特論Ⅴ(幼児教育実践研究A)※ 発達支援研究特論Ⅴ(幼児教育実践研究B)※ 保育内容特論(健康A)【隔年】 保育内容特論(健康B)【隔年】 保育内容特論演習(健康A)【隔年】 保育内容特論演習(健康B)【隔年】
専	准教授	原 祐一 <令和7年4月> 博士(教育学)
		教育DXハッカソン 教育科学のための計量分析演習Ⅰ 教育科学のための計量分析演習Ⅱ 教育科学課題研究 教育科学特論(保健体育科教育学ⅠA) 教育科学特論(保健体育科教育学ⅠB) 教育科学特論(保健体育科教育学ⅡA) 教育科学特論(保健体育科教育学ⅡB) 教育実地展開概論(国際教育比較)【隔年】

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	原田 太郎 <令和7年4月> 博士(生命科学)
		PBL I PBL II PBL III PBL 特論 I PBL 特論 II PBL 特論 III PBL 特論 IV PBL 特論 V PBL 特論 VI PBL 特論 VII PBL 特論 VIII 教育科学プロジェクト研究概論 教育科学課題研究 教育科学特論(植物学 I A)【隔年】 教育科学特論(植物学 I B)【隔年】 教育科学特論(植物学 II A)【隔年】 教育科学特論(植物学 II B)【隔年】 教育科学特論演習(植物学 A) 教育科学特論演習(植物学 B)
専	准教授	久成 三有紀 <令和7年4月> 博士(栄養学)
		教育科学課題研究 教育科学特論(家庭科教育学 I A) 教育科学特論(家庭科教育学 I B) 教育科学特論(食物科学 I A) 教育科学特論(食物科学 I B) 教育科学特論(食物科学 II A) 教育科学特論(食物科学 II B) 教育科学特論(食物科学 III A) 教育科学特論(食物科学 III B)
専	准教授	平田 仁胤 <令和7年4月> 博士(教育学)
		PBL I PBL II PBL III PBL 特論 I PBL 特論 II PBL 特論 III PBL 特論 IV PBL 特論 V PBL 特論 VI PBL 特論 VII PBL 特論 VIII 教育科学の理念と今日的課題A※ 教育科学プロジェクト研究概論 教育科学課題研究 教育組織特論※ 教育組織特論演習※ 教育哲学特論 I A【隔年】 教育哲学特論 I B【隔年】 教育哲学特論 II A【隔年】 教育哲学特論 II B【隔年】 教育哲学特論演習 A 教育哲学特論演習 B

【令和7年度】

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	原田 太郎 <令和7年4月> 博士(生命科学)
		PBL I PBL II PBL III PBL 特論 I PBL 特論 II PBL 特論 III PBL 特論 IV PBL 特論 V PBL 特論 VI PBL 特論 VII PBL 特論 VIII 教育科学プロジェクト研究概論 教育科学課題研究 教育科学特論(植物学 I A)【隔年】 教育科学特論(植物学 I B)【隔年】 教育科学特論(植物学 II A)【隔年】 教育科学特論(植物学 II B)【隔年】 教育科学特論演習(植物学 A) 教育科学特論演習(植物学 B)
専	准教授	久成 三有紀 <令和7年4月> 博士(栄養学)
		教育科学課題研究 教育科学特論(家庭科教育学 I A) 教育科学特論(家庭科教育学 I B) 教育科学特論(食物科学 I A) 教育科学特論(食物科学 I B) 教育科学特論(食物科学 II A) 教育科学特論(食物科学 II B) 教育科学特論(食物科学 III A) 教育科学特論(食物科学 III B)
専	准教授	平田 仁胤 <令和7年4月> 博士(教育学)
		PBL I PBL II PBL III PBL 特論 I PBL 特論 II PBL 特論 III PBL 特論 IV PBL 特論 V PBL 特論 VI PBL 特論 VII PBL 特論 VIII 教育科学の理念と今日的課題A※ 教育科学プロジェクト研究概論 教育科学課題研究 教育組織特論※ 教育組織特論演習※ 教育哲学特論 I A【隔年】 教育哲学特論 I B【隔年】 教育哲学特論 II A【隔年】 教育哲学特論 II B【隔年】 教育哲学特論演習 A 教育哲学特論演習 B

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	又吉 里美 <令和7年4月> 博士(学術)
		教育科学課題研究 教育科学特論(国語学ⅠA)【隔年】 教育科学特論(国語学ⅠB)【隔年】 教育科学特論(国語学ⅡA)【隔年】 教育科学特論(国語学ⅡB)【隔年】
専	准教授	三沢 良 <令和7年4月> 博士(心理学)
		教育データサイエンス実践インターンシップI 教育データサイエンス実践インターンシップII 教育科学課題研究 集団行動科学特論演習 集団心理学特論A【隔年】 集団心理学特論B【隔年】 集団心理学特論演習【隔年】
専	准教授	宮内 通孝 <令和7年4月> 博士(理学)
		教育科学課題研究 教育科学特論(代数学ⅢA) 教育科学特論(代数学ⅢB) 教育科学特論(代数学ⅣA) 教育科学特論(代数学ⅣB) 教育科学特論演習(数学ⅠB) 教育科学特論演習(数学ⅡB)
専	准教授	宮崎 宏志 <令和7年4月> 博士(哲学)
		教育科学課題研究 教育科学特論(倫理学ⅠA) 教育科学特論(倫理学ⅠB) 教育科学特論(倫理学ⅡA) 教育科学特論(倫理学ⅡB)
専	准教授	諸田 大輔 <令和7年4月> 博士(音楽)
		教育科学課題研究 教育科学特論(器楽ⅢA)【隔年】 教育科学特論(器楽ⅢB)【隔年】 教育科学特論(器楽ⅣA)【隔年】 教育科学特論(器楽ⅣB)【隔年】

【令和7年度】

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	又吉 里美 <令和7年4月> 博士(学術)
		教育科学課題研究 教育科学特論(国語学ⅠA)【隔年】 教育科学特論(国語学ⅠB)【隔年】 教育科学特論(国語学ⅡA)【隔年】 教育科学特論(国語学ⅡB)【隔年】 <b>教育科学研究の方法(研究・研修上の倫理, 法規, 行政)</b>
専	教授	三沢 良 <令和7年4月> 博士(心理学)
		教育データサイエンス実践インターンシップI 教育データサイエンス実践インターンシップII 教育科学課題研究 集団行動科学特論演習 集団心理学特論A【隔年】 集団心理学特論B【隔年】 集団心理学特論演習【隔年】
専	教授	宮内 通孝 <令和7年4月> 博士(理学)
		教育科学課題研究 教育科学特論(代数学ⅢA) 教育科学特論(代数学ⅢB) 教育科学特論(代数学ⅣA) 教育科学特論(代数学ⅣB) 教育科学特論演習(数学ⅠB) 教育科学特論演習(数学ⅡB)
専	准教授	宮崎 宏志 <令和7年4月> 博士(哲学)
		教育科学課題研究 教育科学特論(倫理学ⅠA) 教育科学特論(倫理学ⅠB) 教育科学特論(倫理学ⅡA) 教育科学特論(倫理学ⅡB)
専	准教授	諸田 大輔 <令和7年4月> 博士(音楽)
		教育科学課題研究 教育科学特論(器楽ⅢA)【隔年】 教育科学特論(器楽ⅢB)【隔年】 教育科学特論(器楽ⅣA)【隔年】 教育科学特論(器楽ⅣB)【隔年】

【認可時又は届出時】

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	安永 和央 <令和7年4月> 博士(心理学)
		スケジュール科学特論演習 教育データサイエンス実践インターンシップII 教育科学課題研究 教育評価法特論A【隔年】 教育評価法特論B【隔年】 教育評価法特論演習【隔年】 行動科学評価法特論演習 心理データアセスメント特論
専	准教授	横松 友義 <令和7年4月> 博士(教育学)
		教育科学課題研究 発達支援研究特論III(幼児教育学A) 発達支援研究特論III(幼児教育学B) 発達支援研究特論V(幼児教育実践研究A)※ 発達支援研究特論V(幼児教育実践研究B)※ 幼児教育学特論A【隔年】 幼児教育学特論B【隔年】 幼児教育学特論演習A【隔年】 幼児教育学特論演習B【隔年】
専	講師	大平 修也 <令和7年4月> 修士(教育学)
		教育科学課題研究 発達支援研究特論IV(保育内容学A)※ 発達支援研究特論IV(保育内容学B)※ 発達支援研究特論V(幼児教育実践研究A)※ 発達支援研究特論V(幼児教育実践研究B)※ 保育内容特論(造形表現A)【隔年】 保育内容特論(造形表現B)【隔年】 保育内容特論演習(造形表現A)【隔年】 保育内容特論演習(造形表現B)【隔年】

【令和7年度】

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	安永 和央 <令和7年4月> 博士(心理学)
		スケジュール科学特論演習 教育データサイエンス実践インターンシップII 教育科学課題研究 教育評価法特論A【隔年】 教育評価法特論B【隔年】 教育評価法特論演習【隔年】 行動科学評価法特論演習 心理データアセスメント特論 <b>教育データサイエンス実践インターンシップI</b>
専	教授	横松 友義 <令和7年4月> 博士(教育学)
		教育科学課題研究 発達支援研究特論III(幼児教育学A) 発達支援研究特論III(幼児教育学B) 発達支援研究特論V(幼児教育実践研究A)※ 発達支援研究特論V(幼児教育実践研究B)※ 幼児教育学特論A【隔年】 幼児教育学特論B【隔年】 幼児教育学特論演習A【隔年】 幼児教育学特論演習B【隔年】
専	准教授	<b>三島 知剛</b> <b>&lt;令和7年4月&gt;</b> <b>博士(教育学)</b>
		<b>生徒指導特論A</b> <b>生徒指導特論B</b>
専	准教授	<b>岡崎 善弘</b> <b>&lt;令和7年4月&gt;</b> <b>博士(心理学)</b>
		<b>児童心理学特論I A</b> <b>児童心理学特論I B</b>
専	講師	大平 修也 <令和7年4月> 修士(教育学)
		教育科学課題研究 発達支援研究特論IV(保育内容学A)※ 発達支援研究特論IV(保育内容学B)※ 発達支援研究特論V(幼児教育実践研究A)※ 発達支援研究特論V(幼児教育実践研究B)※ 保育内容特論(造形表現A)【隔年】 保育内容特論(造形表現B)【隔年】 保育内容特論演習(造形表現A)【隔年】 保育内容特論演習(造形表現B)【隔年】

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	高須 裕美 <令和7年4月> 修士(音楽)
		教育科学課題研究 教育科学特論(声楽ⅠA)【隔年】 教育科学特論(声楽ⅠB)【隔年】 教育科学特論(声楽ⅡA)【隔年】 教育科学特論(声楽ⅡB)【隔年】
専	講師	高橋 徹 <令和7年4月> 博士(体育科学)
		教育科学課題研究 教育科学特論(体育学A) 教育科学特論(体育学B) 教育科学特論演習(体育学A) 教育科学特論演習(体育学B)
専	講師	津島 愛子 <令和7年4月> 学士(医学)
		学校保健医科学特論(健康科学A) 学校保健医科学特論(健康科学B) 学校保健医科学特論演習(健康科学A) 学校保健医科学特論演習(健康科学B) 教育科学課題研究 発達支援研究特論Ⅳ(学校保健医科学A)※ 発達支援研究特論Ⅳ(学校保健医科学B)※
専	講師	山内 愛 <令和7年4月> 修士(教育学)
		教育科学課題研究 教育実地展開概論(国際教育比較)【隔年】 発達支援研究特論Ⅲ(養護実践学A)※ 発達支援研究特論Ⅲ(養護実践学B)※ 発達支援研究特論Ⅴ(養護教育実践研究A)※ 発達支援研究特論Ⅴ(養護教育実践研究B)※ 養護実践学特論(学校保健学A) 養護実践学特論(学校保健学B) 養護実践学特論演習(学校保健学A) 養護実践学特論演習(学校保健学B)

【令和7年度】

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	高須 裕美 <令和7年4月> 修士(音楽)
		教育科学課題研究 教育科学特論(声楽ⅠA)【隔年】 教育科学特論(声楽ⅠB)【隔年】 教育科学特論(声楽ⅡA)【隔年】 教育科学特論(声楽ⅡB)【隔年】
専	講師	高橋 徹 <令和7年4月> 博士(体育科学)
		教育科学課題研究 教育科学特論(体育学A) 教育科学特論(体育学B) 教育科学特論演習(体育学A) 教育科学特論演習(体育学B)
専	准教授	津島 愛子 <令和7年4月> 学士(医学)
		学校保健医科学特論(健康科学A) 学校保健医科学特論(健康科学B) 学校保健医科学特論演習(健康科学A) 学校保健医科学特論演習(健康科学B) 教育科学課題研究 発達支援研究特論Ⅳ(学校保健医科学A)※ 発達支援研究特論Ⅳ(学校保健医科学B)※

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	佐野 亘 <令和7年4月> 修士(理学)
		教育科学課題研究 教育科学特論(固体地球科学A) 教育科学特論(固体地球科学B) 教育科学特論演習(固体地球科学A) 教育科学特論演習(固体地球科学B)
専	助教	柴川 弘子 <令和7年4月> 修士(学術)
		教育実地展開概論(ESD) 教育実地展開概論(教育のグローバル化)※
専	助教	松浦 藍 <令和7年4月> 博士(学校教育学)
		PBL I PBL II PBL III PBL 特論 I PBL 特論 II PBL 特論 III PBL 特論 IV PBL 特論 V PBL 特論 VI PBL 特論 VII PBL 特論 VIII 教育科学プロジェクト研究概論 教育科学課題研究 教育科学特論(美術科教育学ⅢA)【隔年】 教育科学特論(美術科教育学ⅢB)【隔年】 教育科学特論(美術科教育学ⅣA)【隔年】 教育科学特論(美術科教育学ⅣB)【隔年】 教育科学特論(美術科教育学ⅥA) 教育科学特論(美術科教育学ⅥB)
専	助教	矢口 啓朗 <令和7年4月> 博士(学術)
		教育科学課題研究 教育科学特論(世界史ⅠA) 教育科学特論(世界史ⅠB) 教育科学特論(世界史ⅡA) 教育科学特論(世界史ⅡB) 教育科学特論演習(世界史ⅠA) 教育科学特論演習(世界史ⅠB) 教育科学特論演習(世界史ⅡA) 教育科学特論演習(世界史ⅡB)

【令和7年度】

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	佐野 亘 <令和7年4月> 修士(理学)
		教育科学課題研究 教育科学特論(固体地球科学A) 教育科学特論(固体地球科学B) 教育科学特論演習(固体地球科学A) 教育科学特論演習(固体地球科学B)
専	助教	柴川 弘子 <令和7年4月> 修士(学術)
		教育実地展開概論(ESD) 教育実地展開概論(教育のグローバル化)※
専	助教	松浦 藍 <令和7年4月> 博士(学校教育学)
		PBL I PBL II PBL III PBL 特論 I PBL 特論 II PBL 特論 III PBL 特論 IV PBL 特論 V PBL 特論 VI PBL 特論 VII PBL 特論 VIII 教育科学プロジェクト研究概論 教育科学課題研究 教育科学特論(美術科教育学ⅢA)【隔年】 教育科学特論(美術科教育学ⅢB)【隔年】 教育科学特論(美術科教育学ⅣA)【隔年】 教育科学特論(美術科教育学ⅣB)【隔年】 教育科学特論(美術科教育学ⅥA) 教育科学特論(美術科教育学ⅥB) <b>教育科学研究の方法(教育と地域・起業)</b>
専	助教	矢口 啓朗 <令和7年4月> 博士(学術)
		教育科学課題研究 教育科学特論(世界史ⅠA) 教育科学特論(世界史ⅠB) 教育科学特論(世界史ⅡA) 教育科学特論(世界史ⅡB) 教育科学特論演習(世界史ⅠA) 教育科学特論演習(世界史ⅠB) 教育科学特論演習(世界史ⅡA) 教育科学特論演習(世界史ⅡB) <b>教育科学プロジェクト研究概論</b>

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	石田 衛 <令和7年4月> 博士(教育学)
		リーダーシップとSDGs
その他	教授	熊谷 慎之輔 <令和7年4月> 博士(学校教育学)
		教育組織特論演習※ 社会教育学特論A 社会教育学特論B【隔年】
その他	教授(研究科長)	高瀬 淳 <令和7年4月> 教育学修士
		教育科学研究の方法(研究・研修上の倫理, 法規, 行政)※ 【隔年】 教育制度特論A 教育制度特論B【隔年】 教育組織特論※ 教育組織特論演習※
その他	教授	野上 保之 <令和7年4月> 博士(工学)
		No Codeを用いたデザイン Pythonを用いたビッグデータ解析 データサイエンス概論 教育DXハッカソン
その他	教授	藤井 浩樹 <令和7年4月> 修士(教育学)※
		教育科学特論(理科教育学I A)【隔年】 教育科学特論(理科教育学II A)【隔年】 教育科学特論演習(理科教育学A)【隔年】

【令和7年度】

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	岡本 伸介 <令和7年4月> 博士(音楽)
		教育科学課題研究
その他	教授	石田 衛 <令和7年4月> 博士(教育学)
		リーダーシップとSDGs
その他	教授	熊谷 慎之輔 <令和7年4月> 博士(学校教育学)
		教育組織特論演習※ 社会教育学特論A 社会教育学特論B【隔年】 教育組織特論
その他	教授(研究科長)	高瀬 淳 <令和7年4月> 教育学修士
		教育科学研究の方法(研究・研修上の倫理, 法規, 行政)※ 【隔年】 教育制度特論A 教育制度特論B【隔年】 教育組織特論※ 教育組織特論演習※ 教育社会学特論II A 教育社会学特論II B 教育社会学特論II A 教育社会学特論II B
その他	教授	野上 保之 <令和7年4月> 博士(工学)
		No Codeを用いたデザイン Pythonを用いたビッグデータ解析 データサイエンス概論 教育DXハッカソン
その他	教授	藤井 浩樹 <令和7年4月> 修士(教育学)※
		教育科学特論(理科教育学I A)【隔年】 教育科学特論(理科教育学II A)【隔年】 教育科学特論演習(理科教育学A)【隔年】

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	松枝 睦美 <令和7年4月> 博士(学校教育学)
		発達支援研究特論Ⅳ(学校保健医科学A)※ 発達支援研究特論Ⅳ(学校保健医科学B)※
その他	教授	三村 由香里 <令和7年4月> 博士(医学)
		発達支援研究特論Ⅰ(発達基礎科学B)※【隔年】
その他	准教授	石田 友梨 <令和7年4月> 博士(地域研究)
		ExcelとRを用いたデータ処理 No Codeを用いたデザイン Pythonを用いたビッグデータ解析 データ連携活用演習 テキスト処理演習※ デジタル資料活用演習 メタバース空間構築演習 教育DXハッカソン 教育データサイエンス実践インターンシップII 計量文献学特論演習 時空間情報処理演習※
その他	准教授	石原 信也 <令和7年4月> 博士(工学)
		No Codeを用いたデザイン Pythonを用いたビッグデータ解析 データサイエンス概論 教育DXハッカソン
その他	准教授	小川 真司 <令和7年4月> 学士(芸術)
		教育科学特論(美術理論・美術史B)【隔年】 教育実地展開概論(教育と地域創生)
その他	准教授	金川 舞貴子 <令和7年4月> 博士(教育学)
		教育組織特論※ 教育組織特論演習※
その他	准教授	川崎 弘作 <令和7年4月> 博士(教育学)
		教育科学特論(理科教育学ⅠB)【隔年】 教育科学特論(理科教育学ⅡB)【隔年】 教育科学特論演習(理科教育学B)【隔年】

【令和7年度】

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	松枝 睦美 <令和7年4月> 博士(学校教育学)
		発達支援研究特論Ⅳ(学校保健医科学A)※ 発達支援研究特論Ⅳ(学校保健医科学B)※
その他	教授	三村 由香里 <令和7年4月> 博士(医学)
		発達支援研究特論Ⅰ(発達基礎科学B)※【隔年】
その他	准教授	石田 友梨 <令和7年4月> 博士(地域研究)
		ExcelとRを用いたデータ処理 No Codeを用いたデザイン Pythonを用いたビッグデータ解析 データ連携活用演習 テキスト処理演習※ デジタル資料活用演習 メタバース空間構築演習 教育DXハッカソン 教育データサイエンス実践インターンシップII 計量文献学特論演習 時空間情報処理演習※ <b>教育データサイエンス実践インターンシップI</b>
その他	准教授	石原 信也 <令和7年4月> 博士(工学)
		No Codeを用いたデザイン Pythonを用いたビッグデータ解析 データサイエンス概論 教育DXハッカソン
その他	准教授	<b>オ</b> 士 真司 <令和7年4月> 学士(芸術)
		教育科学特論(美術理論・美術史B)【隔年】 教育実地展開概論(教育と地域創生)
その他	准教授	金川 舞貴子 <令和7年4月> 博士(教育学)
		教育組織特論※ 教育組織特論演習※
その他	准教授	川崎 弘作 <令和7年4月> 博士(教育学)
		教育科学特論(理科教育学ⅠB)【隔年】 教育科学特論(理科教育学ⅡB)【隔年】 教育科学特論演習(理科教育学B)【隔年】

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	准教授	高岡 敦史 <令和7年4月> 博士(体育科学)
		教育科学研究の方法(教育と地域・起業)※
その他	准教授	中山 芳一 <令和7年4月> 修士(教育学)
		教育科学研究の方法(教育と地域・起業)※
その他	准教授	MAHMOOD SABINA <令和7年4月> 博士(医学)
		教育実地展開概論(教育のグローバル化)※
その他	准教授	宮道 カ <令和7年4月> 修士(カウンセリング)
		スケジュール科学特論演習 教育イノベーション演習
その他	講師	宮本 勇一 <令和7年4月> 博士(教育学)
		教育組織特論演習※
その他	助教	伊藤 駿 <令和7年4月> 学士(商学)
		教育実地展開概論(教育と地域創生)
その他	助教	説間 千晴 <令和7年4月> 博士(教育学)
		教育科学特論(家庭科教育学ⅠA) 教育科学特論(家庭科教育学ⅠB)

【令和7年度】

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	准教授	高岡 敦史 <令和7年4月> 博士(体育科学)
		教育科学研究の方法(教育と地域・起業)※
その他	准教授	中山 芳一 <令和7年4月> 修士(教育学)
		教育科学研究の方法(教育と地域・起業)※
その他	准教授	MAHMOOD SABINA <令和7年4月> 博士(医学)
		教育実地展開概論(教育のグローバル化)※
その他	准教授	宮道 カ <令和7年4月> 修士(カウンセリング)
		スケジュール科学特論演習 教育イノベーション演習
その他	講師	宮本 勇一 <令和7年4月> 博士(教育学)
		教育組織特論演習※ <b>教育組織特論</b>
その他	助教	伊藤 駿 <令和7年4月> 学士(商学)
		教育実地展開概論(教育と地域創生)
その他	助教	<b>森</b> 千晴 <令和7年4月> 博士(教育学)
		教育科学特論(家庭科教育学ⅠA) 教育科学特論(家庭科教育学ⅠB) <b>教育科学特論(家庭科教育学ⅠA)</b> <b>教育科学特論(家庭科教育学ⅠB)</b>

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	助教	田邊 彰洋 <令和7年4月> 修士(教育学)
		スケジュール科学特論演習 教育イノベーション演習 教育データサイエンス実践インターンシップI
その他	助教	津田 真吾 <令和7年4月> 修士(工学)
		教育イノベーション演習
その他	助教	山際 あゆみ <令和7年4月> 修士(教育学)
		教育イノベーション演習 教育データサイエンス実践インターンシップI
その他	助教	呂 建輝 <令和7年4月> 博士(文学)
		Pythonを用いたビッグデータ解析 データサイエンス概論 テキスト処理演習※ 教育DXハッカソン 教育イノベーション演習
その他	非常勤講師	森 泰三 <令和7年4月> 博士(環境理工学)
		時空間情報処理演習※

【令和7年度】

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	助教	田邊 彰洋 <令和7年4月> 修士(教育学)
		スケジュール科学特論演習 教育イノベーション演習 教育データサイエンス実践インターンシップI <b>教育データサイエンス実践インターンシップI</b>
その他	助教	津田 真吾 <令和7年4月> 修士(工学)
		教育イノベーション演習
その他	助教	山際 あゆみ <令和7年4月> 修士(教育学)
		教育イノベーション演習 教育データサイエンス実践インターンシップI <b>教育データサイエンス実践インターンシップI</b>
その他	非常勤講師	呂 建輝 <令和7年4月> 博士(文学)
		テキスト処理演習※
その他	助教	<b>山本 康裕 &lt;令和7年4月&gt; 修士(教育学)</b>
		<b>スケジュール科学特論演習</b>
その他	非常勤講師	森 泰三 <令和7年4月> 博士(環境理工学)
		時空間情報処理演習※

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	特命 教授 (教 育)	かひ くらしん 加藤 内蔵進 <令和7年4月> 博士(理学)
		教育科学特論(流体地球科学A) 教育科学特論(流体地球科学B) 教育科学特論演習(流体地球科学A) 教育科学特論演習(流体地球科学B)

【令和7年度】

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	特命 教授 (教 育)	かひ くらしん 加藤 内蔵進 <令和7年4月> 博士(理学)
		教育科学特論(流体地球科学A) 教育科学特論(流体地球科学B) 教育科学特論演習(流体地球科学A) 教育科学特論演習(流体地球科学B)

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和7年度】

- ・専任教員の昇任による職名の変更  
(准教授→教授：三沢良、宮内道孝、横松友義、講師→准教授：津島愛子)
- ・授業担当教員(専任教員)の追加  
青木多寿子：進路指導特論A、進路指導特論B  
三島知剛：生徒指導特論A、生徒指導特論B  
岡崎善弘：児童心理学特論I A、児童心理学特論I B  
岡本伸介：教育科学課題研究
- ・授業担当教員(その他教員)の追加  
山本康裕：スケジュール科学特論演習
- ・教員氏名の変更  
小川真司→才士真司  
説間千晴→森千晴

(注) 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

- ・ **認可で設置された学部等の基幹(専任)教員を変更する場合は**、当該基幹(専任)教員が授業を開始する前に必ず「基幹(専任)教員採用等設置計画変更書」を提出し、  
大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(A C教員審査)を受けてください。

**原則としてA C教員審査を受けずに基幹(専任)教員として授業等を担当することは出来ません。**

なお、改正前大学設置基準等に基づいて認可を受けて設置された学部等が、改正後大学設置基準等への適用のため、大学が基幹教員の要件を満たすと判断した

「専任教員」を「基幹教員」とする場合は、A C教員審査を受審する必要はない扱いとしています。(改正後大学設置基準等の適用にあたり、

「基幹教員」の担当授業科目を追加する場合、「基幹教員」の担当授業科目の内容を変更するなど、A C教員審査の受審を求めている事由が発生する場合は、A C教員審査を受審する必要があります

- ・ A C教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。

なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。

- ・ 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要 研究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要 研究指導補助教員数
17	12	12
名	名	名

(注)・大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
36	19	5	4	64	0	40	19	3	5	67	0
(40)	(19)	(3)	(5)	(67)	(0)						
研究 指導 教員 数	うち 教授 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究 指導 教員 数	うち 教授 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
38	31	20	6			38	33	20	9		
(38)	(33)	(20)	(9)			(38)	(33)	(20)	(9)		
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
40	19	3	5	67	0	40	19	3	5	67	0
[4]	[0]	[▲2]	[1]	[3]	[0]	[4]	[0]	[▲2]	[1]	[3]	[0]
研究 指導 教員 数	うち 教授 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究 指導 教員 数	うち 教授 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
38	33	20	9			38	33	20	9		
[0]	[2]	[0]	[3]			[0]	[2]	[0]	[3]		

(注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、  
 教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、  
 「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、  
 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）  
 ・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、  
 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長 して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、  
 及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている  
 教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段階書きで記入し、  
 「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{67}{64} = 104.68\%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{67} = 0\%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = -\%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 基幹(専任)教員辞任等の理由

(3) - ① 基幹(専任)教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番号	職位	基幹(専任)教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退(未就任)の理由			
1	講師	山内 愛	R7.3	選択	英語実践学特論(学校保健学A)	③	R7.3.31付け自己都合のため就任辞退(7)			
				選択	英語実践学特論(学校保健学B)	③				
				選択	英語実践学特論演習(学校保健学A)	③				
				選択	英語実践学特論演習(学校保健学B)	③				
				選択	発達支援研究特論II(英語実践学A)	①				
				選択	発達支援研究特論II(英語実践学B)	①				
				選択	発達支援研究特論V(基礎教育実践研究A)	①				
				選択	発達支援研究特論V(基礎教育実践研究B)	①				
合計(D)				後任補充状況の集計(E)						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)		
1	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	8	科目	選択	4	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	8	科目	計	4	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての基幹(専任)教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。  
 就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②基幹(専任)教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹(専任)教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 基幹(専任)教員が担当する(している)場合は「①」  
 ・ 基幹(専任)教員以外の教員(兼任兼担教員)が担当する(している)場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 基幹(専任)教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	基幹(専任)教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1		該当なし								
合計(F)				後任補充状況の集計(G)						
辞任した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての基幹(専任)教員**について、記入してください。(学年進行中に基幹教員の要件を満たさなくなったことにより、基幹教員でなくなった教員についても記入してください。)  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹(専任)教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 基幹(専任)教員が担当する(している)場合は「①」  
 ・ 基幹(専任)教員以外の教員(兼任兼担教員)が担当する(している)場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計(D)+(F)				後任補充状況の集計(E)+(G)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)		
1	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	8	科目	選択	4	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	8	科目	計	4	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D)+(F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{64} = 1.56\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和5年度報告書から、新たに辞任等した基幹(専任)教員等の状況

- 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した基幹(専任)教員数の合計数を記載してください。  
 ・ 令和6年度開設の学科等の場合、(D)+(F)と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した基幹（専任）教員に対する後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1		該当なし								
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての基幹（専任）教員**について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 基幹（専任）教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

辞任した1名の教員が担当する予定であった授業科目は、後任未定の科目を除き、専任教員が担当するため、学生への履修の影響は生じない。  
 後任未定の科目については、後任が補充され次第授業実施予定だが、令和7年度中での開講は難しいことが想定されるため学生便覧、シラバス、時間割表等で令和7年度は未開講科目であることを明示している。

- (注) ・ 上記(3)の基幹（専任）教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時  (令和6年)	該当なし		

(注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおり記載してください。

**【令和6年度報告書から記載内容に変更がある場合】**

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「（6）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（7）」と記載してください。

**【令和6年度報告書から記載内容に変更がない場合】**

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「（6）（7）」と記載してください。

**【令和7年度から新たに調査対象となった学科等又は令和6年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】**

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（7）」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

<大学院教育学研究科 教育科学専攻>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注)・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>a 委員会の設置状況 教員養成カリキュラム検討・推進機構</li> <li>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) 1, 2か月に1回程度</li> <li>c 委員会の審議事項等 FD研修会の内容等の検討</li> </ul> <p>② 実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>a 実施内容 大学院の新体制について:教育データサイエンス学位プログラムの概要 新カリキュラムの実施状況 等</li> <li>b 実施方法 対面で実施</li> <li>c 開催状況(教員の参加状況含む) 全教員の8割以上が参加している。</li> <li>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 実施内容を踏まえて、分掌又は授業担当チームごとに大学院の授業改善について検討したうえで、必要に応じて専攻運営会議又は教務委員会等に提起し、組織的な改善につなげている。</li> </ul> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>a 実施の有無及び実施時期 実施:有 実施時期:授業科目の開講最終学期に実施予定</li> <li>b 教員や学生への公開状況、方法等 アンケートの集計結果を教職員に公開予定。</li> </ul>
--

(注)・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

#### (4) 自己点検・評価等に関する事項

##### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的については、当初設定したとおりに実現しているが、今後更に教育・研究の水準の向上を図り、設置の趣旨・目的の実現に向け取り組むこととしている。

##### ② 自己点検・評価報告書

###### a 公表（予定）時期

- ・令和9年3月以降を予定

###### b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定

##### ③ 認証評価を受ける計画

- ・令和10年に大学機関別認証評価を受けるべく、学内で検討中。

(注)・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (5) 情報公表に関する事項

##### ○ 設置計画履行状況報告書（令和7年度）

- a 公表予定の有無 [  有 ・  無 ]

《 aで「有」の場合》

- b 公表（予定）時期 [  調査結果公表後1ヶ月以内 ・  公表後2～3ヶ月以内 ・  公表後3ヶ月以降 ]

- c 公表方法 [  ウェブサイトへの掲載 ・  その他 ( ) ]

《 aで公表「無」の場合》

- d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに掲載するなど、積極的な情報提供をお願いします。